

平成24年度  
(2012年度)

# 決算審査意見書

旭川市水道事業会計  
旭川市下水道事業会計  
旭川市病院事業会計

旭川市監査委員

旭 監 第 77 号  
平成25年9月2日

旭川市長 西 川 将 人 様

旭川市監査委員	武 田	滋
旭川市監査委員	中 島	孝 志
旭川市監査委員	能登谷	繁
旭川市監査委員	中 村	徳 幸

## 平成24年度旭川市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成24年度旭川市公営企業会計（水道事業会計，下水道事業会計，病院事業会計）の決算及び証書類等について審査したので，別紙のとおりその意見を提出します。

# 目 次

1	審 査 の 概 要	1
(1)	審査の対象	1
(2)	審査の期間	1
(3)	審査の方法	1
2	審 査 の 結 果	1
(総括表)	平成24年度各事業会計決算総括表	2
	平成24年度末各事業会計財政状態（貸借対照表）総括表	3
	平成24年度各事業会計一般会計繰入金総括表	3
	旭川市水道事業会計	4
1	業務等の概況	4
2	予算の執行状況（決算報告書）	5
3	経営成績（損益計算書）	7
4	財政状態（貸借対照表）	9
5	むすび	12
(付 表)	第1表 予算決算対照比率表	13
	第2表 損益計算書対前年度比較表	14
	第3表 費用使途別比率表	15
	第4表 業務実績表	16
	第5表 貸借対照表対前年度比較表	17
	第6表 経営分析表	18
	第7表 資金運用表	19
	第8表 経営成績等の主要な項目の推移表	20
	旭川市下水道事業会計	21
1	業務等の概況	21
2	予算の執行状況（決算報告書）	22
3	経営成績（損益計算書）	24
4	財政状態（貸借対照表）	26
5	むすび	29
(付 表)	第1表 予算決算対照比率表	30
	第2表 損益計算書対前年度比較表	31
	第3表 費用使途別比率表	32
	第4表 業務実績表	33
	第5表 貸借対照表対前年度比較表	34

第6表	経営分析表	35
第7表	資金運用表	36
第8表	経営成績等の主要な項目の推移表	37
旭川市病院事業会計		
1	業務等の概況	38
2	予算の執行状況（決算報告書）	39
3	経営成績（損益計算書）	41
4	財政状態（貸借対照表）	42
5	むすび	45
(付 表)	第1表 予算決算対照比率表	46
	第2表 損益計算書対前年度比較表	47
	第3表 費用使途別比率表	48
	第4表 業務実績表	49
	第5表 貸借対照表対前年度比較表	50
	第6表 経営分析表	51
	第7表 資金運用表	52
	第8表 経営成績等の主要な項目の推移表	53

(注) 1 文中に用いる金額は、原則として、各計数ごとに万円単位(万円未満は切捨て)で表示した。

2 文中及び各表中の比率等の用法は、次のとおりである。

- (1) 比率 (%) …… 原則として、小数点以下第2位を四捨五入した。
- (2) 「0.0」 …… 該当数値はあるが、原則として0.05未満のもの。
- (3) 「-」 …… 該当数値のないもの若しくは比較不能のもの又は1,000%以上のもの。
- (4) 「△」 …… 負数を示し、増減を示すときは減を表す。

3 構成比 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

## 1 審査の概要

### (1) 審査の対象

平成24年度 旭川市水道事業会計決算

平成24年度 旭川市下水道事業会計決算

平成24年度 旭川市病院事業会計決算

### (2) 審査の期間

平成25年6月3日から平成25年7月9日まで

### (3) 審査の方法

決算審査に当たっては、決算報告書、財務諸表、事業報告書及び附属明細書が法令に準拠して調製されているか、計数は正確であるか、さらにこれらがその事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するために、旭川市監査基準に基づき、必要な審査手続を選定し、関係諸帳簿その他証拠書類との照合を行ったほか、予算の執行状況についても確認するとともに、あわせて事業の経営内容を分析し推移の把握に努める等、審査の充実を期した。

なお、現金預金の残高及び出資による権利に係る証書類の確認並びに諸証憑の確認等については、例月出納検査及び定期監査等の結果を踏まえ審査した。

## 2 審査の結果

決算報告書等は法令に規定された様式に従って調製されており、諸計数は正確で、当年度における経営成績及び当年度末における財政状態を適正に表示しているものと認められた。

また、予算の執行については、別に実施した定期監査等において一部に不備不適事項が見受けられたが、総体としては適正であると認められた。

なお、各事業会計の決算の総括は次表のとおりであり、業務等の概況、経営成績及び財政状態等については各事業会計別に述べる。

平成24年度各事業会計決算総括表

(単位 円)

区 分		水 道	下 水 道	病 院	合 計	
収 益 的 収 支	収 入	営(医)業収益	5,588,589,531	6,721,195,341	10,605,734,478	22,915,519,350
		営(医)業外収益	167,969,952	404,088,224	278,509,668	850,567,844
		そ の 他	—	—	578,767,000	578,767,000
		計	5,756,559,483	7,125,283,565	11,463,011,146	24,344,854,194
	支 出	営(医)業費用	4,331,022,294	5,282,364,626	11,296,880,589	20,910,267,509
		営(医)業外費用	909,158,560	1,287,315,132	460,441,027	2,656,914,719
		そ の 他	—	—	56,431,775	56,431,775
		計	5,240,180,854	6,569,679,758	11,813,753,391	23,623,614,003
	差 引 額 A		516,378,629	555,603,807	△ 350,742,245	721,240,191
	特 別 利 益		88,310	6,734	440,905	535,949
	特 別 損 失		55,053,702	52,248,725	5,690,110	112,992,537
	差 引 額 B		△ 54,965,392	△ 52,241,991	△ 5,249,205	△ 112,456,588
	収益的収支差引額 A+B		461,413,237	503,361,816	△ 355,991,450	608,783,603
当年度損益(税抜) C		387,980,041	460,222,887	△ 356,145,618	492,057,310	
資 本 的 収 支	収 入	企 業 債	705,100,000	1,502,000,000	100,000,000	2,307,100,000
		国 庫 補 助 金	—	827,684,708	—	827,684,708
		受 益 者 負 担 金	—	18,328,200	—	18,328,200
		工 事 負 担 金	139,014,392	1,089,558	—	140,103,950
		他 会 計 出 資 金	350,402,000	784,012,000	632,995,000	1,767,409,000
		他 会 計 補 助 金	—	303,835,000	78,513,000	382,348,000
		他 会 計 負 担 金	—	—	31,824,000	31,824,000
		他 町 負 担 金	—	9,454,000	—	9,454,000
		そ の 他 の 収 入	81,900	57,750	1,148,095	1,287,745
	計		1,194,598,292	3,446,461,216	844,480,095	5,485,539,603
	支 出	建 設 改 良 費	1,762,438,576	2,134,502,531	243,194,868	4,140,135,975
		企 業 債 償 還 金	2,489,404,154	4,524,452,597	1,002,585,324	8,016,442,075
		そ の 他 の 支 出	—	—	—	—
計		4,251,842,730	6,658,955,128	1,245,780,192	12,156,578,050	
資本的収支差引額 D		△ 3,057,244,438	△ 3,212,493,912	△ 401,300,097	△ 6,671,038,447	
翌年度繰越に係る財源充当額 E		—	—	—	—	
内部留保資金等 F		4,537,868,200	3,039,059,801	3,441,310,390	11,018,238,391	
当年度末運転資金 C+D+E+F		1,868,603,803	286,788,776	2,683,864,675	4,839,257,254	

注 本表は、消費税及び地方消費税を含む数値である。

平成24年度末各事業会計財政状態（貸借対照表）総括表

(単位 円)

区 分	水 道	下 水 道	病 院	合 計	
借 方	1 固定資産	60,964,349,237	176,422,307,168	11,227,174,012	248,613,830,417
	(1) 有形固定資産	90,457,202,731	236,153,808,136	26,607,821,763	353,218,832,630
	減価償却累計額	36,839,247,900	60,291,726,693	15,382,486,851	112,513,461,444
	(2) 無形固定資産	7,333,094,406	550,969,725	1,771,100	7,885,835,231
	(3) 投資	13,300,000	9,256,000	68,000	22,624,000
	2 流動資産	2,029,198,494	1,599,736,354	3,785,815,588	7,414,750,436
	(1) 現金預金	632,840,161	55,437,047	1,859,183,636	2,547,460,844
	(2) 未収金	704,021,729	1,544,299,307	1,820,094,703	4,068,415,739
	(3) 貯蔵品	12,336,604	—	106,326,149	118,662,753
	(4) 短期貸付金	680,000,000	—	—	680,000,000
	(5) 前払金	—	—	211,100	211,100
	3 繰延勘定	—	—	253,169,661	253,169,661
	(1) 控除対象外消費税額	—	—	253,169,661	253,169,661
合 計	62,993,547,731	178,022,043,522	15,266,159,261	256,281,750,514	
貸 方	1 固定負債	—	3,580,000,000	—	3,580,000,000
	(1) 企業債	—	3,580,000,000	—	3,580,000,000
	2 流動負債	160,594,691	1,312,947,578	1,101,950,913	2,575,493,182
	(1) 一時借入金	—	680,000,000	—	680,000,000
	(2) 未払金	150,964,725	630,201,109	1,069,799,693	1,850,965,527
	(3) 預り金	9,629,966	2,746,469	32,151,220	44,527,655
	3 資本金	45,724,326,557	58,358,715,322	23,586,711,201	127,669,753,080
	(1) 自己資本金	8,113,206,082	12,261,060,471	9,276,708,605	29,650,975,158
	(2) 借入資本金	37,611,120,475	46,097,654,851	14,310,002,596	98,018,777,922
	4 剰余金	17,108,626,483	114,770,380,622	△ 9,422,502,853	122,456,504,252
	(1) 資本剰余金	19,065,140,537	114,310,157,735	2,654,162,220	136,029,460,492
	(2) 利益剰余金	△ 1,956,514,054	460,222,887	△ 12,076,665,073	△ 13,572,956,240
	イ 当年度未処分利益剰余金	△ 1,956,514,054	460,222,887	△ 12,076,665,073	△ 13,572,956,240
合 計	62,993,547,731	178,022,043,522	15,266,159,261	256,281,750,514	

注 本表は、消費税及び地方消費税を含まない数値である。

平成24年度各事業会計一般会計繰入金総括表

(単位 円)

区 分	水 道	下 水 道	病 院	合 計	
収益的 収入	1 負担金	267,192,750	940,561,000	578,767,000	1,786,520,750
	2 補助金	41,192,000	192,034,000	159,082,000	392,308,000
	計	308,384,750	1,132,595,000	737,849,000	2,178,828,750
資本的 収入	1 負担金	3,127,950	—	31,824,000	34,951,950
	2 補助金	—	303,835,000	—	303,835,000
	3 出資金	350,402,000	784,012,000	632,995,000	1,767,409,000
	計	353,529,950	1,087,847,000	664,819,000	2,106,195,950
合 計	661,914,700	2,220,442,000	1,402,668,000	4,285,024,700	

注 本表は、消費税及び地方消費税を含む数値である。

# 旭川市水道事業会計

# 旭川市水道事業会計

## 1 業務等の概況

平成24年度の業務実績について、前年度と比較すると、普及状況では給水区域内人口は347,450人で0.3%、給水人口は326,845人で0.1%それぞれ減少し、給水区域内人口に対する給水人口の割合は94.1%で0.2ポイント上昇し、給水戸数は160,523戸で0.5%増加している。

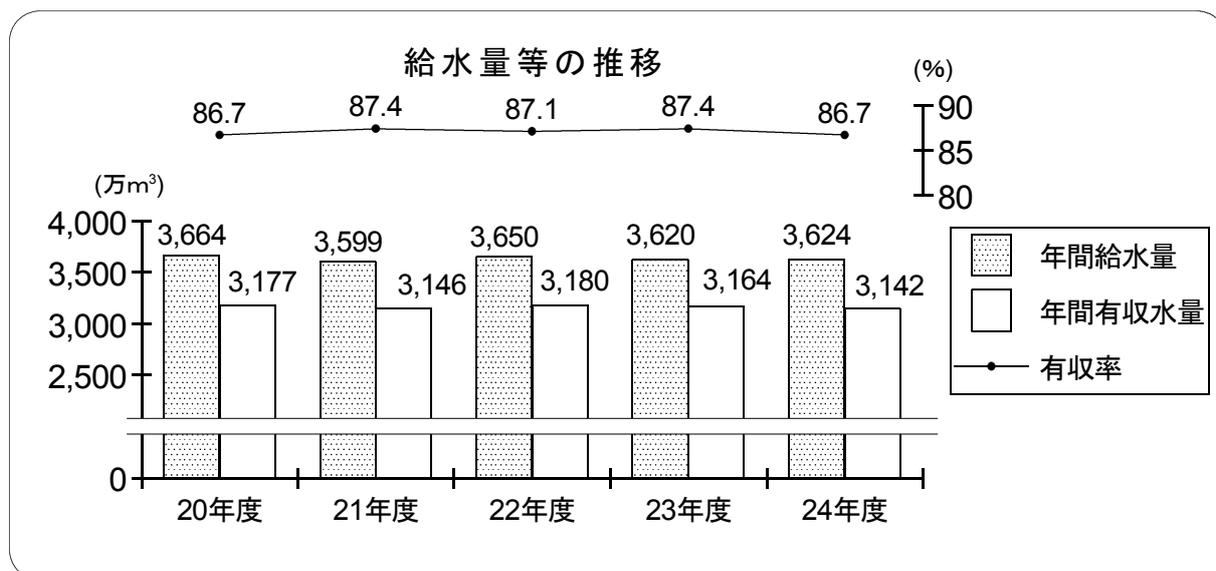
年間給水量は3,624万 $\text{m}^3$ で前年度に比し0.1%上昇しているが、このうち、水道料金の基礎となる有収水量は3,142万 $\text{m}^3$ で0.7%低下しており、有収率も86.7%で0.7ポイント低下している。

建設改良事業については、浄水施設工事、配水管の整備、量水器の設置等が実施されており、受贈分を含めた年度末の配水管総延長は、前年度に比し6km増の2,215kmとなっている。

これらの結果、経営成績については、前年度と比較すると、収益では8,378万円減の55億257万円となり、一方、費用では7,449万円減の51億1,459万円となり、収益が費用を上回ったことにより3億8,798万円の純利益を生じている。

次に、当年度末の財政状態については、前年度末に比して資産で9億8,165万円の減、負債で4,732万円の減、資本で9億3,432万円の減となった結果、年度末残高は資産629億9,354万円、負債1億6,059万円、資本628億3,295万円となり、資産と負債資本合計は、いずれも629億9,354万円で、前年度末より9億8,165万円の減となっている。

また、資金運用及び運転資金の状況については、収益的収支で30億7,318万円の資金剰余、資本的収支で30億5,724万円の資金不足を生じた結果、当年度末における運転資金は前年度末に比し1,593万円増加し、18億6,860万円となっている。



## 2 予算の執行状況（決算報告書）

### (1) 収益的収支

#### ア 収入

(単位 円・%)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	予算現額に対する 決算額の増減	執 行 率
営 業 収 益	5,535,833,000	5,588,589,531	52,756,531	101.0
営 業 外 収 益	188,677,000	167,969,952	△ 20,707,048	89.0
特 別 利 益	1,000	88,310	87,310	—
合 計	5,724,511,000	5,756,647,793	32,136,793	100.6

#### イ 支出

(単位 円・%)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額	執 行 率
営 業 費 用	4,452,596,000	4,331,022,294	121,573,706	97.3
営 業 外 費 用	930,059,000	909,158,560	20,900,440	97.8
特 別 損 失	49,276,000	55,053,702	△ 5,777,702	111.7
予 備 費	10,000,000	0	10,000,000	—
合 計	5,441,931,000	5,295,234,556	146,696,444	97.3

収益的収入の予算現額に対する執行率は100.6%であり、3,213万円の増となっている。

一方、収益的支出の予算現額に対する執行率は97.3%であり、1億4,669万円の不用額を生じている。

#### 収入の主なもの

営 業 収 益      給 水 収 益      52億1,340万円

#### 支出の主なもの

営 業 費 用      職 員 給 与 費      6億9,891万円

減 価 償 却 費      24億3,017万円

営 業 外 費 用      支 払 利 息 及 び  
企 業 債 取 扱 諸 費      7億7,471万円

#### 不用額の主なもの

営 業 費 用      職 員 給 与 費      6,411万円

## (2) 資本的収支

## ア 収 入

(単位 円・%)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	予算現額に対する 決算額の増減	執 行 率
企 業 債	924,100,000	705,100,000	△ 219,000,000	76.3
工 事 負 担 金	166,419,000	139,014,392	△ 27,404,608	83.5
他 会 計 出 資 金	358,402,000	350,402,000	△ 8,000,000	97.8
そ の 他 の 収 入	302,000	81,900	△ 220,100	27.1
合 計	1,449,223,000	1,194,598,292	△ 254,624,708	82.4

## イ 支 出

(単位 円・%)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額	執 行 率
建 設 改 良 費	1,936,741,000	1,762,438,576	174,302,424	91.0
企 業 債 償 還 金	2,494,405,000	2,489,404,154	5,000,846	99.8
予 備 費	5,000,000	0	5,000,000	—
合 計	4,436,146,000	4,251,842,730	184,303,270	95.8

資本的収入の予算現額に対する執行率は82.4%であり、2億5,462万円の減となっている。

一方、資本的支出の予算現額に対する執行率は95.8%であり、1億8,430万円の不用額を生じている。

## 収入の主なもの

企 業 債	企 業 債	7億 510万円
他 会 計 出 資 金	他 会 計 出 資 金	3億5,040万円

## 支出の主なもの

建 設 改 良 費	構 築 物	9億2,511万円
	機 械 及 び 装 置	6億5,980万円
企 業 債 償 還 金	企 業 債 償 還 金	24億8,940万円

## 不用額の主なもの

建 設 改 良 費	総 係 費	4,923万円
	構 築 物	4,941万円
	機 械 及 び 装 置	6,735万円

なお、資本的収支の不足額30億5,724万円は、過年度分損益勘定留保資金18億5,266万円、当年度分損益勘定留保資金等12億457万円で補填している。

(3) 建設改良事業

(単位 千円・%)

事業名	計画期間	計画額	平成24年度 執行額	執行率
水道事業 財政計画	平成24年度 ～ 平成27年度	7,453,090	1,762,438	23.6

上表のとおり、平成24年度は現財政計画の初年度として、17億6,243万円の建設改良事業を執行しており、執行率については23.6%となっている。

その主な事業内容として、忠別川浄水場ろ過池機械・電気設備工事、配水本管布設工事、量水器設置工事等を実施し、浄水施設などの整備を行っている。

当年度末の配水管の延長については、布設工事等により5,579mの増となり、受贈分の60mを含めた総延長は2,215,314mに達している。

3 経営成績（損益計算書）

(単位 円)

年度	総収益	総費用	当年度純利益
平成24年度	5,502,572,811	5,114,592,770	387,980,041
平成23年度	5,586,361,347	5,189,087,018	397,274,329
増減	△ 83,788,536	△ 74,494,248	△ 9,294,288

(1) 収 益

(単位 円・%)

科目	平成24年度 A	平成23年度 B	差引 A-B	A/B
営業収益	5,337,451,430	5,361,448,509	△ 23,997,079	99.6
営業外収益	165,033,071	224,912,838	△ 59,879,767	73.4
特別利益	88,310	0	88,310	—
合計	5,502,572,811	5,586,361,347	△ 83,788,536	98.5

(2) 費 用

(単位 円・%)

科目	平成24年度 A	平成23年度 B	差引 A-B	A/B
営業費用	4,283,780,432	4,263,678,017	20,102,415	100.5
営業外費用	775,758,636	874,925,784	△ 99,167,148	88.7
特別損失	55,053,702	50,483,217	4,570,485	109.1
合計	5,114,592,770	5,189,087,018	△ 74,494,248	98.6

当年度の経営成績については、上記のとおり総収益が総費用を上回ったことにより3億8,798万円の純利益を生じており、前年度に比し929万円減少している。

収益について前年度決算額と比較すると第2表損益計算書対前年度比較表のとおり、受託事業収益で5,425万円減少したことなどにより、総収益で8,378万円減少し、1.5%の低下となっている。

前年度決算額に対する増減の主なもの

営業外収益	受託事業収益	△	5,425万円
-------	--------	---	---------

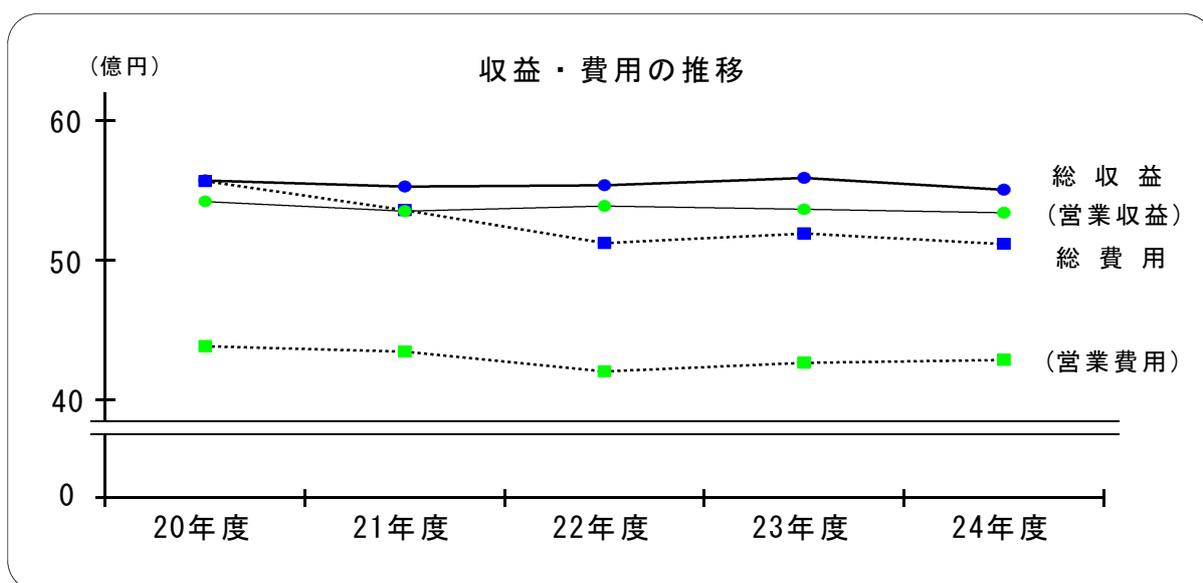
一方、費用について、前年度決算額と比較すると第2表損益計算書対前年度比較表のとおり、資産減耗費で3,696万円増加したものの、職員給与費、支払利息及び企業債取扱諸費、受託事業費で1億7,010万円減少したことなどにより、総費用で7,449万円減少し、1.4%の低下となっている。

なお、第3表費用使途別比率表のとおり、「人件費」では職員給与費の手当等で減少したことにより9.1%低下し、「物件費・その他の経費」では、資産減耗費等で増加したものの、支払利息及び企業債取扱諸費、受託事業費等で減少したことにより0.1%低下している。

前年度決算額に対する増減の主なもの

営業費用	職員給与費	△	7,028万円
	資産減耗費		3,696万円

営業外費用	支払利息及び 企業債取扱諸費	△	4,568万円
	受託事業費	△	5,413万円



有収水量，給水収益及び給水費用は次表のとおりであり，有収水量1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価は158.32円，給水原価は160.98円で給水原価が2.66円上回っている。

(単位 円・m<sup>3</sup>・%)

区 分	平成24年度 A	平成23年度 B	差 引 A-B	A/B
有 収 水 量 ア	31,429,126	31,644,305	△ 215,179	99.3
給 水 収 益 イ	4,975,859,098	5,000,110,354	△ 24,251,256	99.5
給 水 費 用 ウ	5,059,419,068	5,084,350,270	△ 24,931,202	99.5
1 m <sup>3</sup> 当たり 供給単価 イ/ア	158.32	158.01	0.31	100.2
1 m <sup>3</sup> 当たり 給水原価 ウ/ア	160.98	160.67	0.31	100.2
差引(単価-原価)	△ 2.66	△ 2.66	0.00	

注 給水費用=総費用-(受託事業費+特別損失)

#### 4 財政状態(貸借対照表)

##### (1) 資 産

(単位 円・%)

科 目	平成24年度末 現 在 高 A	平成23年度末 現 在 高 B	差 引 A-B	A/B
固 定 資 産	60,964,349,237	61,914,610,739	△ 950,261,502	98.5
流 動 資 産	2,029,198,494	2,060,589,606	△ 31,391,112	98.5
資 産 合 計	62,993,547,731	63,975,200,345	△ 981,652,614	98.5

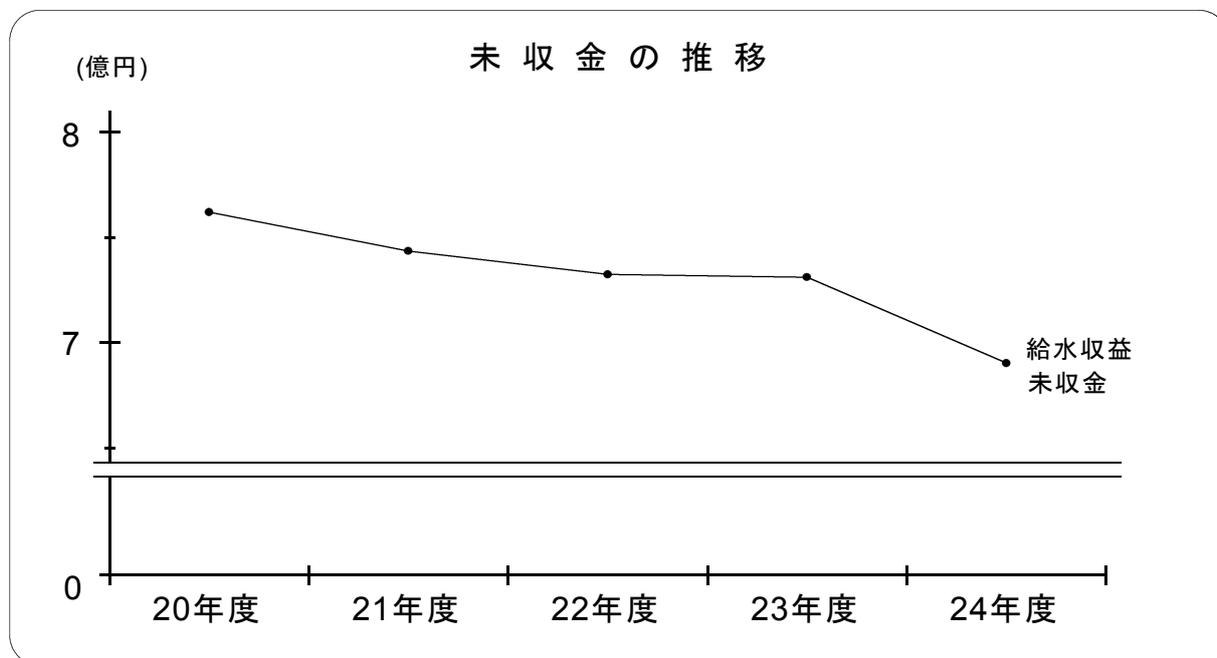
資産について前年度決算額と比較すると1.5%の低下となっている。

前年度決算額に対する増減の主なもの

固 定 資 産	構 築 物	△	6 億2,958万円
	機 械 及 び 装 置	△	1 億9,241万円
	ダ ム 使 用 権	△	1 億4,075万円
流 動 資 産	現 金 預 金		1 億7,732万円
	未 収 金	△	3,999万円
	短 期 貸 付 金	△	1 億7,000万円

これらの結果を第6表経営分析表でみると，固定資産構成比率，流動資産構成比率及び流動資産対固定資産比率は，いずれも前年度と同率となっている。

なお、未収金については次のとおり、前年度に比し5.4%低下し、収入率については0.2ポイント上昇している。また、第8表経営成績等の主要な項目の推移表のとおり給水収益に係る未収金は減少しているが、不納欠損額は増加していることから、未収金の早期回収に引き続き努力されたい。



ア 収入状況表

(単位 円・%)

年 度	調 定 額	収 入 額	不納欠損額	未 収 額	収入率
24年度A	7,694,748,798	6,937,398,824	53,328,245	704,021,729	90.2
23年度B	7,839,391,997	7,057,893,489	37,484,019	744,014,489	90.0
A - B	△ 144,643,199	△ 120,494,665	15,844,226	△ 39,992,760	0.2
A / B	98.2	98.3	142.3	94.6	

注 平成24年度において、前年度未収額744,014,489円から減額更正した511,776円は特別損失で処理した。

イ 未収金内訳

(単位 円・%)

科 目	平成24年度末 現在高 A	平成23年度末 現在高 B	差 引 A - B	A / B
1 給水収益	690,367,020	731,132,369	△ 40,765,349	94.4
2 雑収益	13,654,709	12,882,120	772,589	106.0
計	704,021,729	744,014,489	△ 39,992,760	94.6

## (2) 負債資本

(単位 円・%)

科 目	平成24年度末 現 在 高 A	平成23年度末 現 在 高 B	差 引 A－B	A／B
流 動 負 債	160,594,691	207,922,364	△ 47,327,673	77.2
負 債 合 計	160,594,691	207,922,364	△ 47,327,673	77.2
資 本 金	45,724,326,557	47,158,228,711	△ 1,433,902,154	97.0
剰 余 金	17,108,626,483	16,609,049,270	499,577,213	103.0
資 本 合 計	62,832,953,040	63,767,277,981	△ 934,324,941	98.5
負債資本合計	62,993,547,731	63,975,200,345	△ 981,652,614	98.5

負債資本について前年度決算額と比較すると1.5%の低下となっている。

前年度決算額に対する増減の主なもの

流 動 負 債	未 払 金	△	4,696万円
資 本 金	自 己 資 本 金		3億5,040万円
	借 入 資 本 金	△	17億8,430万円
剰 余 金	資 本 剰 余 金		1億1,159万円
	利 益 剰 余 金		3億8,798万円

これらの結果を第6表経営分析表でみると、前年度に比し固定負債構成比率及び負債比率が低下し、自己資本構成比率は上昇し、流動負債構成比率は同率となっている。

なお、資産と負債資本の関係では、前年度に比し固定比率及び固定資産対長期資本比率が低下し、流動比率は上昇している。

## (3) 資金運用

当年度の資金運用及び運転資金の状況は、第7表資金運用表のとおり調達源泉としては、減価償却費、企業債等の42億6,786万円となっているが、一方運用用途としては、建設改良費、企業債償還金等の42億5,193万円となっていることにより、1,593万円の運転資金が増加し、その結果、当年度末の運転資金は18億6,860万円となっている。

なお、運転資金の増加は、短期貸付金の減等による資金の減少要因があったものの、現金預金の増等による資金の増加要因が上回ったことによるものである。

## 5 むすび

以上、本事業会計について提出された決算諸表、その他関係書類に基づき審査を行った。

水道事業は、市民生活にとって重要なライフラインとして、また、都市機能や産業活動など様々な面において必要不可欠な社会資本としての役割を果たしているところであり、当年度においても安全で良質な水道水の安定供給を図るため、配水管や浄水施設等の整備などを行ったところである。

事業執行の結果、損益状況においては、3億8,798万円の純利益を生じており、これを前年度から繰り越した欠損金に充て、当年度未処理欠損金は19億5,651万円となっている。

資金状況に関しては、当年度末で18億6,860万円の運転資金を有しており、前年度末に比し1,593万円の資金増となっている。

また、当年度末の企業債残高は、第8表経営成績等の主要な項目の推移表のとおり、前年度末に比し17億8,430万円減の376億1,112万円となっている。

当年度の決算状況は以上のとおり、損益では、前年度に比し929万円減少しているものの、引き続き4億円弱の純利益を確保している。これは主に、給水収益が減少したほか施設更新に伴い資産減耗費が増加したものの、職員数の減により職員給与費が減少したことや支払利息及び企業債取扱諸費が減少したことによるものである。

また、資金収支では、企業債が減少し企業債償還金が増加したことなどにより、資本的収支不足額が前年度に比し6,381万円増加したものの、純利益が生じていることにより当年度末運転資金は増加している。

なお、当年度は平成24年度から平成27年度までを期間とする後期財政計画の初年度の決算となるが、収益的収支で損益が1億8,336万円上回っていることにより、資本的収支で不足額が7,032万円上回っているものの、資金収支は1億3,525万円、運転資金は1億6,742万円それぞれ上回っている状況にある。

このように水道事業の財政状況は好転しているが、人口の減少に伴い給水収益が減少傾向となることが予想されること、既存施設等の更新に多額の経費を要すること、企業債残高は減少傾向にあるとはいえ今後も元金償還額が高い水準で推移すること、累積欠損金を抱えていることなどから、今後も水道事業の運営は厳しい状況にあると考えられる。

このような状況の中、市民から求められている安心安全で良質な水道水の安定的な供給を維持していくために、資金収支などの財政状況にも十分配慮しながら、過大な投資とならないよう計画的かつ効率的に既存施設及び設備の更新を行うなど、限られた収入の中で持続可能な事業運営に努められるよう望むものである。

(付表)

第1表

## 予 算 決 算 対 照 比 率 表

### 収 益 的 収 支

水道事業 (単位 円・%)

科 目	予算現額 A	構成比率		決算額 B	構成比率		B / A		科 目	予算現額 A	構成比率		決算額 B	構成比率		B / A	
		平成24年度	平成23年度		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度			平成24年度	平成23年度		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度
		水道事業収益	5,724,511,000		100.0	100.0	5,756,647,793	100.0			100.0	100.6		101.1	水道事業費用	5,441,931,000	100.0
営業収益	5,535,833,000	96.7	95.7	5,588,589,531	97.1	96.1	101.0	101.5	営業費用	4,452,596,000	81.8	80.8	4,331,022,294	81.8	80.3	97.3	94.7
営業外収益	188,677,000	3.3	4.3	167,969,952	2.9	3.9	89.0	92.4	営業外費用	930,059,000	17.1	18.0	909,158,560	17.2	18.8	97.8	99.7
特別利益	1,000	0.0	0.0	88,310	0.0	0.0	—	—	特別損失	49,276,000	0.9	1.0	55,053,702	1.0	0.9	111.7	85.5
									予備費	10,000,000	0.2	0.2	0	—	—	—	—
合 計	5,724,511,000	100.0	100.0	5,756,647,793	100.0	100.0	100.6	101.1	合 計	5,441,931,000	100.0	100.0	5,295,234,556	100.0	100.0	97.3	95.3

注 水道事業収益の決算額には仮受消費税及び地方消費税256,686,726円、水道事業費用の決算額には仮払消費税及び地方消費税47,247,862円が含まれている。

### 資 本 的 収 支

(単位 円・%)

科 目	予算現額 A	構成比率		決算額 B	構成比率		B / A		科 目	予算現額 A	構成比率		決算額 B	構成比率		B / A	
		平成24年度	平成23年度		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度			平成24年度	平成23年度					
		資本的収入	1,449,223,000		32.7	31.9	1,194,598,292	28.1			29.5	82.4		89.6	資本的支出	4,436,146,000	100.0
企業債	924,100,000	20.8	22.7	705,100,000	16.6	20.5	76.3	87.7	建設改良費	1,936,741,000	43.7	43.7	1,762,438,576	41.5	42.2	91.0	93.8
工事負担金	166,419,000	3.8	1.4	139,014,392	3.3	1.0	83.5	63.3	企業債償還金	2,494,405,000	56.2	56.2	2,489,404,154	58.5	57.8	99.8	99.8
他会計出資金	358,402,000	8.1	7.8	350,402,000	8.2	8.0	97.8	100.0	予備費	5,000,000	0.1	0.1	0	—	—	—	—
その他の収入	302,000	0.0	0.0	81,900	0.0	0.0	27.1	124.4									
補填財源	2,986,923,000	67.3	68.1	3,057,244,438	71.9	70.5	102.4	100.6									
過年度分損益勘定留保資金	1,820,497,000	41.0	40.8	1,852,667,242	43.6	42.4	101.8	101.0									
当年度分損益勘定留保資金等	1,166,426,000	26.3	27.3	1,204,577,196	28.3	28.1	103.3	100.0									
合 計	4,436,146,000	100.0	100.0	4,251,842,730	100.0	100.0	95.8	97.1	合 計	4,436,146,000	100.0	100.0	4,251,842,730	100.0	100.0	95.8	97.1

注 資本的収入の決算額には仮受消費税及び地方消費税4,729,850円、資本的支出の決算額には仮払消費税及び地方消費税57,642,957円が含まれている。

## 損益計算書対前年度比較表

水道事業(単位 円・%)

科 目	平成24年度	構 成 比 率	平成23年度	差 引 増 減	増減率	科 目	平成24年度	構 成 比 率	平成23年度	差 引 増 減	増減率
1 営業費用	4,283,780,432	83.8	4,263,678,017	20,102,415	0.5	1 営業収益	5,337,451,430	97.0	5,361,448,509	△ 23,997,079	△ 0.4
(1) 取水費	245,992,097	4.8	237,383,996	8,608,101	3.6	(1) 給水収益	4,975,859,098	90.4	5,000,110,354	△ 24,251,256	△ 0.5
(2) 浄水費	207,208,207	4.1	210,346,674	△ 3,138,467	△ 1.5	(2) 負担金	330,394,132	6.0	324,041,555	6,352,577	2.0
(3) 配水費	203,683,840	4.0	192,417,967	11,265,873	5.9	(3) 手数料	31,198,200	0.6	37,296,600	△ 6,098,400	△ 16.4
(4) 給水費	135,427,301	2.6	128,640,940	6,786,361	5.3	2 営業外収益	165,033,071	3.0	224,912,838	△ 59,879,767	△ 26.6
(5) 業務費	121,900,653	2.4	99,481,728	22,418,925	22.5	(1) 受取利息及び配当金	112,899	0.0	123,443	△ 10,544	△ 8.5
(6) 総係費	38,310,730	0.7	37,970,301	340,429	0.9	(2) 補助金	41,192,000	0.8	51,917,000	△ 10,725,000	△ 20.7
(7) 職員給与費	698,635,496	13.7	768,918,972	△ 70,283,476	△ 9.1	(3) 雑収益	123,596,172	2.2	118,480,689	5,115,483	4.3
(8) 減価償却費	2,430,171,292	47.5	2,423,036,210	7,135,082	0.3	(4) 受託事業収益	132,000	0.0	54,391,706	△ 54,259,706	△ 99.8
(9) 資産減耗費	202,450,816	4.0	165,481,229	36,969,587	22.3						
2 営業外費用	775,758,636	15.1	874,925,784	△ 99,167,148	△ 11.3						
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	774,711,360	15.1	820,397,705	△ 45,686,345	△ 5.6						
(2) 受託事業費	120,000	0.0	54,253,531	△ 54,133,531	△ 99.8						
(3) 雑支出	927,276	0.0	274,548	652,728	237.7						
経常費用	5,059,539,068	98.9	5,138,603,801	△ 79,064,733	△ 1.5	経常収益	5,502,484,501	100.0	5,586,361,347	△ 83,876,846	△ 1.5
経常利益(△損失)	442,945,433	—	447,757,546	△ 4,812,113	△ 1.1						
3 特別損失	55,053,702	1.1	50,483,217	4,570,485	9.1	3 特別利益	88,310	0.0	0	88,310	—
(1) 固定資産売却損	207,053	0.0	15,856	191,197	—	(1) 過年度損益修正益	88,310	0.0	0	88,310	—
(2) 過年度損益修正損	54,846,649	1.1	38,519,361	16,327,288	42.4						
その他特別損失	—	—	11,948,000	△ 11,948,000	—						
総費用	5,114,592,770	100.0	5,189,087,018	△ 74,494,248	△ 1.4	総収益	5,502,572,811	100.0	5,586,361,347	△ 83,788,536	△ 1.5
当年度純利益(△損失)	387,980,041	—	397,274,329	△ 9,294,288	△ 2.3						
合 計	5,502,572,811	—	5,586,361,347	△ 83,788,536	△ 1.5	合 計	5,502,572,811	—	5,586,361,347	△ 83,788,536	△ 1.5

## 費用使途別比率表

水道事業 (単位 円・%)

科 目	人 件 費				物 件 費 ・ そ の 他 の 経 費				計			
	金 額	構 成 比 率		前 年 度 に 対 する 比 率	金 額	構 成 比 率		前 年 度 に 対 する 比 率	金 額	構 成 比 率		前 年 度 に 対 する 比 率
		平 成 24 年 度	平 成 23 年 度			平 成 24 年 度	平 成 23 年 度			平 成 24 年 度	平 成 23 年 度	
営業費用	699,374,201	13.7	14.8	90.9	3,584,406,231	70.1	67.4	102.6	4,283,780,432	83.8	82.2	100.5
取水費	0	—	—	—	245,992,097	4.8	4.6	103.6	245,992,097	4.8	4.6	103.6
浄水費	0	—	—	—	207,208,207	4.1	4.1	98.5	207,208,207	4.1	4.1	98.5
配水費	0	—	—	—	203,683,840	4.0	3.7	105.9	203,683,840	4.0	3.7	105.9
給水費	0	—	—	—	135,427,301	2.6	2.5	105.3	135,427,301	2.6	2.5	105.3
業務費	0	—	—	—	121,900,653	2.4	1.9	122.5	121,900,653	2.4	1.9	122.5
総係費	738,705	0.0	0.0	96.5	37,572,025	0.7	0.7	101.0	38,310,730	0.7	0.7	100.9
職員給与費	698,635,496	13.7	14.8	90.9	0	—	—	—	698,635,496	13.7	14.8	90.9
減価償却費	0	—	—	—	2,430,171,292	47.5	46.7	100.3	2,430,171,292	47.5	46.7	100.3
資産減耗費	0	—	—	—	202,450,816	4.0	3.2	122.3	202,450,816	4.0	3.2	122.3
営業外費用	0	—	—	—	775,758,636	15.1	16.8	88.7	775,758,636	15.1	16.8	88.7
支払利息及び企業 債取扱諸費	0	—	—	—	774,711,360	15.1	15.8	94.4	774,711,360	15.1	15.8	94.4
受託事業費	0	—	—	—	120,000	0.0	1.0	0.2	120,000	0.0	1.0	0.2
雑支出	0	—	—	—	927,276	0.0	0.0	337.7	927,276	0.0	0.0	337.7
特別損失	0	—	—	—	55,053,702	1.1	1.0	109.1	55,053,702	1.1	1.0	109.1
固定資産売却損	0	—	—	—	207,053	0.0	0.0	—	207,053	0.0	0.0	—
過年度損益修正損	0	—	—	—	54,846,649	1.1	0.8	142.4	54,846,649	1.1	0.8	142.4
その他特別損失	—	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	0.2	—
合 計	699,374,201	13.7	14.8	90.9	4,415,218,569	86.3	85.2	99.9	5,114,592,770	100.0	100.0	98.6

## 業 務 実 績 表

水 道 事 業

項 目	平成24年度	平成23年度	前年度に対する比較		備 考
			平成24年度	平成23年度	
総 人 口	349,332 人	350,511 人	99.7 %	99.6 %	
計 画 給 水 人 口	378,000 人	378,000 人	100.0 %	100.0 %	
給 水 区 域 内 人 口	347,450 人	348,584 人	99.7 %	99.6 %	
給 水 人 口	326,845 人	327,321 人	99.9 %	99.8 %	
普 及 率	93.6 %	93.4 %	0.2 ポイント	0.2 ポイント	$\frac{\text{給水人口}}{\text{総人口}} \times 100$
	94.1 %	93.9 %	0.2 ポイント	0.2 ポイント	$\frac{\text{給水人口}}{\text{給水区域内人口}} \times 100$
給 水 世 帯 数	164,063 世帯	163,011 世帯	100.6 %	100.7 %	
給 水 戸 数	160,523 戸	159,707 戸	100.5 %	101.1 %	
年 間 給 水 量	36,249,994 m <sup>3</sup>	36,206,953 m <sup>3</sup>	100.1 %	99.2 %	
年 間 有 収 水 量	31,429,126 m <sup>3</sup>	31,644,305 m <sup>3</sup>	99.3 %	99.5 %	
有 収 率	86.7 %	87.4 %	△ 0.7 ポイント	0.3 ポイント	$\frac{\text{有収水量}}{\text{給水量}} \times 100$
配 水 管 延 長	2,215,314 m	2,209,675 m	100.3 %	100.4 %	
職 員 数	97 人 ( 8 人)	101 人 ( 11 人)	96.0 % ( 72.7 %)	98.1 % ( 78.6 %)	( )は、再任用短時間勤務職員数で外数である。
1 m <sup>3</sup> 当 たり 収 益	175円08銭	176円54銭	99.2 %	101.5 %	$\frac{\text{総収益}}{\text{有収水量}}$
1 m <sup>3</sup> 当 たり 費 用	162円73銭	163円98銭	99.2 %	101.9 %	$\frac{\text{総費用}}{\text{有収水量}}$
1 m <sup>3</sup> 当 たり 給 水 収 益	158円32銭	158円01銭	100.2 %	100.0 %	$\frac{\text{給水収益}}{\text{有収水量}}$
1 m <sup>3</sup> 当 たり 給 水 費 用	160円98銭	160円67銭	100.2 %	100.9 %	$\frac{\text{給水費用}}{\text{有収水量}}$ 給水費用＝総費用－（受託事業費＋特別損失）

## 貸借対照表対前年度比較表

水道事業(単位 円・%)

科 目	平成24年度	構 成 比 率	平成23年度	差 引 増 減	増 減 率	科 目	平成24年度	構 成 比 率	平成23年度	差 引 増 減	増 減 率
1 固定資産	60,964,349,237	96.8	61,914,610,739	△ 950,261,502	△ 1.5	1 流動負債	160,594,691	0.3	207,922,364	△ 47,327,673	△ 22.8
(1) 有形固定資産	53,617,954,831	85.1	54,427,456,914	△ 809,502,083	△ 1.5	(1) 未払金	150,964,725	0.3	197,932,609	△ 46,967,884	△ 23.7
イ 土地	559,939,532	0.9	559,939,532	0	0.0	(2) 預り金	9,629,966	0.0	9,989,755	△ 359,789	△ 3.6
ロ 建物	167,244,396	0.3	173,247,948	△ 6,003,552	△ 3.5	<b>負 債 合 計</b>	<b>160,594,691</b>	<b>0.3</b>	<b>207,922,364</b>	<b>△ 47,327,673</b>	<b>△ 22.8</b>
ハ 建物附属設備	17,885,560	0.0	11,811,919	6,073,641	51.4	2 資本金	45,724,326,557	72.6	47,158,228,711	△ 1,433,902,154	△ 3.0
ニ 構築物	46,543,177,495	73.9	47,172,760,490	△ 629,582,995	△ 1.3	(1) 自己資本金	8,113,206,082	12.9	7,762,804,082	350,402,000	4.5
ホ 機械及び装置	6,247,169,630	9.9	6,439,587,853	△ 192,418,223	△ 3.0	(2) 借入資本金	37,611,120,475	59.7	39,395,424,629	△ 1,784,304,154	△ 4.5
ヘ 車両及び運搬具	10,638,192	0.0	8,641,795	1,996,397	23.1	イ 企業債	37,611,120,475	59.7	39,395,424,629	△ 1,784,304,154	△ 4.5
ト 器具及び備品	27,351,725	0.0	30,663,954	△ 3,312,229	△ 10.8	3 剰余金	17,108,626,483	27.1	16,609,049,270	499,577,213	3.0
チ 建設仮勘定	44,548,301	0.1	30,803,423	13,744,878	44.6	(1) 資本剰余金	19,065,140,537	30.2	18,953,543,365	111,597,172	0.6
(2) 無形固定資産	7,333,094,406	11.7	7,473,853,825	△ 140,759,419	△ 1.9	イ 受贈財産評価額	907,495,815	1.4	906,727,635	768,180	0.1
イ 電話加入権	3,148,600	0.0	3,148,600	0	0.0	ロ 寄附金	920,000	0.0	920,000	0	0.0
ロ ダム使用权	7,329,945,806	11.7	7,470,705,225	△ 140,759,419	△ 1.9	ハ 国道補助金	4,120,852,756	6.5	4,139,546,701	△ 18,693,945	△ 0.5
(3) 投資	13,300,000	0.0	13,300,000	0	0.0	ニ 工事負担金	13,996,909,528	22.2	13,867,386,591	129,522,937	0.9
イ 出資金	13,300,000	0.0	13,300,000	0	0.0	ホ 他町村負担金	653,000	0.0	653,000	0	0.0
2 流動資産	2,029,198,494	3.2	2,060,589,606	△ 31,391,112	△ 1.5	ヘ 他会計補助金	32,244,000	0.1	32,244,000	0	0.0
(1) 現金預金	632,840,161	1.0	455,513,537	177,326,624	38.9	ト その他	6,065,438	0.0	6,065,438	0	0.0
(2) 未収金	704,021,729	1.1	744,014,489	△ 39,992,760	△ 5.4	(2) 利益剰余金	△ 1,956,514,054	△ 3.1	△ 2,344,494,095	387,980,041	△ 16.5
(3) 貯蔵品	12,336,604	0.0	11,061,580	1,275,024	11.5	イ 当年度未処理欠損金	1,956,514,054	3.1	2,344,494,095	△ 387,980,041	△ 16.5
(4) 短期貸付金	680,000,000	1.1	850,000,000	△ 170,000,000	△ 20.0	<b>資 本 合 計</b>	<b>62,832,953,040</b>	<b>99.7</b>	<b>63,767,277,981</b>	<b>△ 934,324,941</b>	<b>△ 1.5</b>
資 産 合 計	62,993,547,731	100.0	63,975,200,345	△ 981,652,614	△ 1.5	<b>負 債 資 本 合 計</b>	<b>62,993,547,731</b>	<b>100.0</b>	<b>63,975,200,345</b>	<b>△ 981,652,614</b>	<b>△ 1.5</b>

# 経 営 分 析 表

水道事業（単位：%）

項 目	比 率			算 式	説 明	
	平成24年度	平成23年度	平成22年度			
構 成 比 率	固定資産構成比率	96.8	96.8	96.9	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$	総資産中、固定資産が占める割合を示す。この比率の大きいことは公営企業の特徴であるが小さい方が望ましい。
	流動資産構成比率	3.2	3.2	3.1	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} \times 100$	総資産中、流動資産が占める割合を示す。この比率の小さいことは公営企業の特徴であるが大きい方が望ましい。
	固定負債構成比率	59.7	61.6	63.3	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本中、固定負債が占める割合を示す。この比率は小さい方が望ましい。
	流動負債構成比率	0.3	0.3	0.3	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本中、流動負債が占める割合を示す。この比率は小さい方が望ましい。
	自己資本構成比率	40.0	38.1	36.4	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本中、自己資本が占める割合を示す。この比率は大きい方が望ましい。
財 務 比 率	流動資産対固定資産比率	3.3	3.3	3.2	$\frac{\text{流動資産}}{\text{固定資産}} \times 100$	流動資産と固定資産の比率を表す。この比率の小さいことは公営企業の特徴であるが大きい方が望ましい。
	負債比率	149.8	162.5	175.0	$\frac{\text{負債}}{\text{自己資本}} \times 100$	負債と自己資本の比率を表す。負債を自己資本より超過させないことが健全経営の第一義であることから、率としては100%以下が望ましい。
	固定比率	241.7	254.0	266.5	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$	固定資産と自己資本の比率を表す。固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであることから、100%以下が望ましい。
	固定資産対長期資本比率	97.0	97.1	97.2	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{自己資本}} \times 100$	固定資産をうむための長期資本(固定負債+自己資本)の役割を%で表したもの。100%を超えることは過大投資が行われたことを示す。
	流動比率	1,263.6	991.0	1,069.0	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期負債の支払能力をみるのに用いる。理想比率としては200%以上であること。この比率が100%を割っていることは、不良債務があることを示している。
	酸性試験比率	832.4	576.9	488.6	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期負債の返済に必要な現金と換金されやすい未収金による支払能力をみるのに用いる。理想比率は100%以上。
	現金預金比率	394.1	219.1	88.1	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期負債の即時的支払能力をみるのに用いる。理想比率は20%以上。
その他	利子負担率	2.0	2.0	2.1	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{(\text{期首借入} + \text{期末借入}) \div 2} \times 100$	有利子負債及び借入資本金の平均に占める利息の割合を表す。%の大きいほど金利負担増大による危険性が大きいことを示す。

注 固定負債 = 貸借対照表上の固定負債 + 借入資本金

負債 = 貸借対照表上の固定負債 + 流動負債 + 借入資本金

自己資本 = 自己資本金 + 剰余金

借入 = 有利子負債（企業債+他会計借入金+一時借入金）+ 借入資本金

## 資 金 運 用 表

## 1 長期資金

水道事業(単位 円)

資金の運用用途	金額	資金の調達源泉	金額
過年度損益修正益	88,310	減価償却費	2,430,171,292
		資産減耗費	201,997,816
		固定資産売却損	207,053
		消費税及び地方消費税資本的収支調整額	52,913,107
		当年度純利益	387,980,041
収益的収支の資金剰余	3,073,180,999		
建設改良費	1,762,438,576	企業債	705,100,000
企業債償還金	2,489,404,154	工事負担金	139,014,392
		他会計出資金	350,402,000
		その他の収入	81,900
		資本的収支の資金不足	3,057,244,438
運転資金の増加	15,936,561		
合計	4,267,867,601	合計	4,267,867,601

## 2 運転資金

(単位 円)

科目 \ 区分	平成24年度末	平成23年度末	資金	
			増加	減少
流動資産 A	2,029,198,494	2,060,589,606		31,391,112
現金預金	632,840,161	455,513,537	177,326,624	
未収金	704,021,729	744,014,489		39,992,760
貯蔵品	12,336,604	11,061,580	1,275,024	
短期貸付金	680,000,000	850,000,000		170,000,000
流動負債 B	160,594,691	207,922,364	47,327,673	
未払金	150,964,725	197,932,609	46,967,884	
預り金	9,629,966	9,989,755	359,789	
運転資金 A - B	1,868,603,803	1,852,667,242	15,936,561	

## 経営成績等の主要な項目の推移表

水道事業（単位 円・㎡）

区 分		年 度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
経 営 成 績	総 収 益		5,568,336,033	5,524,591,868	5,533,139,154	5,586,361,347	5,502,572,811
	給 水 収 益		5,050,596,776	4,980,277,844	5,024,227,455	5,000,110,354	4,975,859,098
	総 費 用		5,563,478,669	5,355,764,031	5,120,032,324	5,189,087,018	5,114,592,770
	人 件 費		897,916,146	845,916,602	754,294,075	769,684,491	699,374,201
	減 価 償 却 費		2,420,545,416	2,430,828,869	2,431,211,203	2,423,036,210	2,430,171,292
	支 払 利 息 等		1,144,021,954	972,021,188	862,139,066	820,397,705	774,711,360
	給 水 費 用		5,526,288,605	5,315,187,937	5,063,778,113	5,084,350,270	5,059,419,068
	経 常 利 益		41,180,180	202,957,829	460,624,826	447,757,546	442,945,433
	当 年 度 純 利 益		4,857,364	168,827,837	413,106,830	397,274,329	387,980,041
	供 給 単 価		158.93	158.28	157.95	158.01	158.32
	給 水 原 価		173.90	168.93	159.19	160.67	160.98
	供給単価－給水原価		△ 14.97	△ 10.65	△ 1.24	△ 2.66	△ 2.66
財 政 状 態	流 動 資 産		1,831,303,109	1,801,834,865	1,986,567,961	2,060,589,606	2,029,198,494
	給水収益未収金		761,917,439	743,522,680	732,422,960	731,132,369	690,367,020
	流 動 負 債		240,535,593	252,071,452	185,829,033	207,922,364	160,594,691
	年 度 末 運 転 資 金		1,590,767,516	1,549,763,413	1,800,738,928	1,852,667,242	1,868,603,803
	企 業 債 年 度 末 残 高		44,089,624,437	42,485,650,194	40,979,199,322	39,395,424,629	37,611,120,475
そ の 他	未 処 理 欠 損 金		3,323,703,091	3,154,875,254	2,741,768,424	2,344,494,095	1,956,514,054
	建 設 改 良 費		1,719,505,411	1,647,220,901	1,664,981,941	1,790,021,069	1,762,438,576
	企 業 債 償 還 金		5,551,407,877	4,038,274,243	2,392,650,872	2,454,274,693	2,489,404,154
	一 般 会 計 繰 入 金		595,655,900	624,784,300	606,755,300	652,760,600	661,914,700
	不 納 欠 損 額		34,962,188	39,058,983	46,796,248	37,484,019	53,328,245
	有 収 水 量		31,778,705	31,464,414	31,809,380	31,644,305	31,429,126

注1 建設改良費には、仮払消費税及び地方消費税が含まれている。

注2 一般会計繰入金は、収益的収入と資本的収入の合計である。

# 旭川市下水道事業会計

# 旭川市下水道事業会計

## 1 業務等の概況

平成24年度の業務実績についてみると、処理区域面積では8,011haで前年度に比し18ha増加した一方で、処理区域内人口は337,453人で減少しており、普及状況に関しては、排水設備設置済人口が326,076人、水洗便所設置済人口が324,815人でそれぞれ横ばいとなっており、処理区域内人口に対する割合は排水設備設置済人口の割合が96.6%で0.2ポイント上昇しており、水洗便所設置済人口の割合が96.3%で0.3ポイント上昇している。

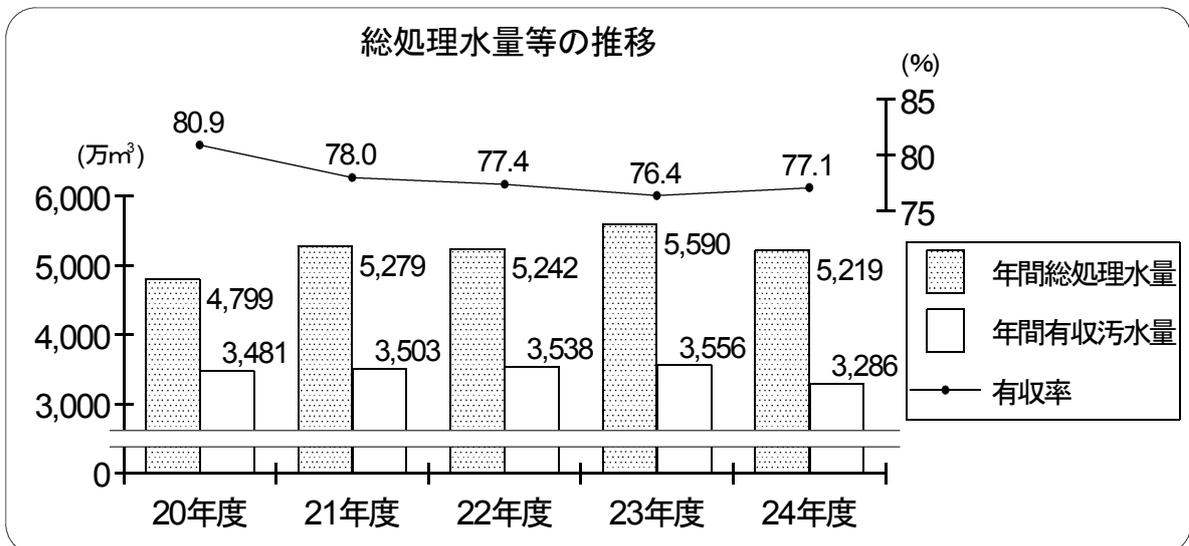
年間総処理水量は5,219万 $\text{m}^3$ で前年度に比し6.6%低下し、雨水処理水量を除いた年間汚水量も8.4%低下しているが、下水道使用料の基礎となる年間有収汚水量が3,286万 $\text{m}^3$ で7.6%の低下にとどまったことから、有収率は77.1%で0.7ポイント上昇している。

建設改良事業については、下水管布設工事等を実施し、受贈分を含めた年度末の下水管総延長は前年度に比し6km増の1,903kmとなり、処理場施設では、主に下水処理センターで水処理施設建設工事等が実施されている。

これらの結果、経営成績でみると、収益では前年度に比し4,800万円減の68億4,278万円となり、一方、費用では1,447万円減の63億8,256万円となり、収益が費用を上回ったことにより4億6,022万円の純利益を生じている。

次に、当年度末の財政状態については、前年度末に比して資産で10億4,632万円の減、負債で1億8,887万円の増、資本で12億3,519万円の減となった結果、年度末残高は資産1,780億2,204万円、負債48億9,294万円、資本1,731億2,909万円となり、資産と負債資本合計は、いずれも1,780億2,204万円で、前年度末より10億4,632万円の減となっている。

また、資金運用及び運転資金の状況については、収益的収支で32億6,028万円の資金剰余、資本的収支等で32億4,014万円の資金不足を生じた結果、当年度末における運転資金は前年度末に比し2,013万円増加し、2億8,678万円となっている。



## 2 予算の執行状況（決算報告書）

### (1) 収益的収支

#### ア 収入

(単位 円・%)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	予算現額に対する 決算額の増減	執 行 率
営 業 収 益	6,669,744,000	6,721,195,341	51,451,341	100.8
営 業 外 収 益	385,336,000	404,088,224	18,752,224	104.9
特 別 利 益	1,000	6,734	5,734	673.4
合 計	7,055,081,000	7,125,290,299	70,209,299	101.0

#### イ 支出

(単位 円・%)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額	執 行 率
営 業 費 用	5,396,129,000	5,282,364,626	113,764,374	97.9
営 業 外 費 用	1,304,331,000	1,287,315,132	17,015,868	98.7
特 別 損 失	50,992,000	52,248,725	△ 1,256,725	102.5
予 備 費	10,000,000	0	10,000,000	—
合 計	6,761,452,000	6,621,928,483	139,523,517	97.9

収益的収入の予算現額に対する執行率は101.0%であり、7,020万円の増となっている。

一方、収益的支出の予算現額に対する執行率は97.9%であり、1億3,952万円の不用額を生じている。

#### 収入の主なもの

営 業 収 益	下 水 道 使 用 料	59億7,113万円
	負 担 金	6億7,331万円

#### 支出の主なもの

営 業 費 用	処 理 場 費	12億1,784万円
	減 価 償 却 費	27億3,660万円
営 業 外 費 用	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	11億2,322万円

#### 不用額の主なもの

営 業 費 用	職 員 給 与 費	6,404万円
---------	-----------	---------

## (2) 資本的収支

## ア 収 入

(単位 円・%)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	予算現額に対する 決算額の増減	執 行 率
企 業 債	1,673,400,000	1,502,000,000	△ 171,400,000	89.8
国庫補助金	929,000,000	827,684,708	△ 101,315,292	89.1
受益者負担金	17,508,000	18,328,200	820,200	104.7
工事負担金	1,000,000	1,089,558	89,558	109.0
他会計出資金	796,076,000	784,012,000	△ 12,064,000	98.5
他会計補助金	303,835,000	303,835,000	0	100.0
他町負担金	11,322,000	9,454,000	△ 1,868,000	83.5
その他の収入	374,000	57,750	△ 316,250	15.4
合 計	3,732,515,000	3,446,461,216	△ 286,053,784	92.3

## イ 支 出

(単位 円・%)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
建設改良費	2,353,965,000	2,134,502,531	30,000,000	189,462,469	90.7
企業債償還金	4,534,453,000	4,524,452,597	0	10,000,403	99.8
その他の支出	100,000	0	0	100,000	—
予 備 費	5,000,000	0	0	5,000,000	—
合 計	6,893,518,000	6,658,955,128	30,000,000	204,562,872	96.6

資本的収入の予算現額に対する執行率は92.3%であり、2億8,605万円の減となっている。

一方、資本的支出の予算現額に対する執行率は96.6%であり、2億456万円の不用額を生じている。

## 収入の主なもの

企 業 債	企 業 債	15億 200万円
国庫補助金	国庫補助金	8億2,768万円

## 支出の主なもの

建設改良費	構 築 物	15億2,606万円
企業債償還金	企 業 債 償 還 金	45億2,445万円

## 不用額の主なもの

建設改良費	構 築 物	1億6,549万円
-------	-------	-----------

なお、資本的収支の不足額32億1,249万円は、減債積立金2億6,665万円、当年度分損益勘定留保資金等27億7,240万円及び当年度利益剰余金処分量1億7,343万円で補填している。

### (3) 建設改良事業

(単位 千円・%)

事業名	計画期間	計画額	平成24年度 執行額	執行率
下水道事業 財政計画	平成24年度 ～ 平成27年度	7,448,949	2,134,502	28.7

上表のとおり、平成24年度は現財政計画の初年度として、21億3,450万円の建設改良事業を執行しており、執行率は28.7%となっている。

その主な事業内容として、下水管布設工事、下水処理センター9系水処理施設建設工事及び機械・電気設備工事等を実施している。

当年度末の下水管の延長については、布設工事等により6,300mの増となり、受贈分の48mを含めた総延長は1,903,864mに達している。

## 3 経営成績（損益計算書）

(単位 円)

年度	総収益	総費用	当年度純利益
平成24年度	6,842,788,718	6,382,565,831	460,222,887
平成23年度	6,890,796,806	6,397,042,826	493,753,980
増減	△ 48,008,088	△ 14,476,995	△ 33,531,093

### (1) 収益

(単位 円・%)

科目	平成24年度 A	平成23年度 B	差引 A-B	A/B
営業収益	6,446,294,150	6,641,757,559	△ 195,463,409	97.1
営業外収益	396,487,834	249,039,247	147,448,587	159.2
特別利益	6,734	0	6,734	—
合計	6,842,788,718	6,890,796,806	△ 48,008,088	99.3

### (2) 費用

(単位 円・%)

科目	平成24年度 A	平成23年度 B	差引 A-B	A/B
営業費用	5,184,209,745	5,080,385,364	103,824,381	102.0
営業外費用	1,146,107,361	1,263,750,614	△ 117,643,253	90.7
特別損失	52,248,725	52,906,848	△ 658,123	98.8
合計	6,382,565,831	6,397,042,826	△ 14,476,995	99.8

当年度の経営成績については、上記のとおり総収益が総費用を上回ったことにより4億6,022万円の純利益を生じており、前年度に比し3,353万円減少している。

収益について前年度決算額と比較すると第2表損益計算書対前年度比較表のとおり、その他営業収益、雑収益で2億5,393万円増加したものの、下水道使用料、受託事業収益で3億35万円減少したことなどにより、総収益で4,800万円減少し、0.7%の低下となっている。

前年度決算額に対する増減の主なもの

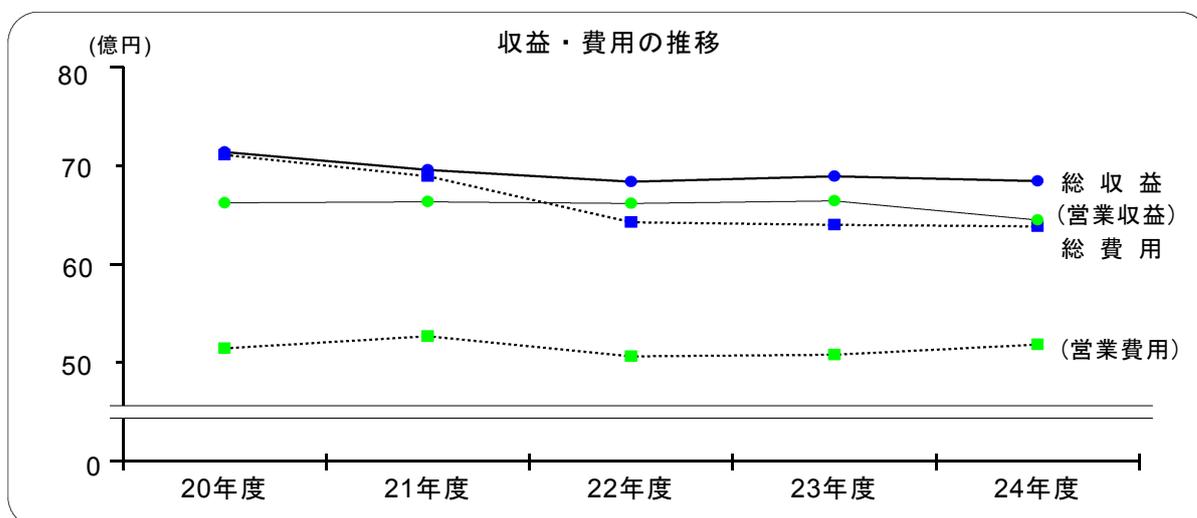
営業収益	下水道使用料	△	2億6,400万円
	その他営業収益		7,309万円
営業外収益	雑収益		1億8,084万円
	受託事業収益	△	3,635万円

一方、費用について前年度決算額と比較すると第2表損益計算書対前年度比較表のとおり、処理場費で4,175万円増加しているものの、職員給与費、支払利息及び企業債取扱諸費、受託事業費で1億5,149万円減少したことなどにより、総費用で1,447万円減少し、0.2%の低下となっている。

なお、第3表費用用途別比率表のとおり、「人件費」では職員給与費の手当等が減少したことにより6.9%低下し、「物件費・その他の経費」ではポンプ場費、支払利息及び企業債取扱諸費等で減少したものの、業務費、資産減耗費等で増加したことにより0.3%上昇し、総費用では0.2%の低下となっている。

前年度決算額に対する増減の主なもの

営業費用	処理場費		4,175万円
	職員給与費	△	3,350万円
営業外費用	支払利息及び 企業債取扱諸費	△	8,225万円
	受託事業費	△	3,573万円



一般使用者に係る有収汚水量，下水道使用料及び汚水処理経費は次表のとおりであり，有収汚水量1㎡当りの使用料単価は179.55円，処理原価は166.20円で，使用料単価が13.35円上回っている。

(単位 円・㎡・%)

区 分	平成24年度 A	平成23年度 B	差 引 A-B	A/B
有 収 汚 水 量 ア	31,746,849	31,905,339	△ 158,490	99.5
下 水 道 使 用 料 イ	5,700,278,057	5,715,163,995	△ 14,885,938	99.7
汚 水 処 理 経 費 ウ	5,276,169,964	5,251,887,349	24,282,615	100.5
1㎡当たり 使用料単価 イ/A	179.55	179.13	0.42	100.2
1㎡当たり 処理原価 ウ/A	166.20	164.61	1.59	101.0
差引(単価-原価)	13.35	14.52	△ 1.17	

#### 4 財政状態（貸借対照表）

##### (1) 資 産

(単位 円・%)

科 目	平成24年度末 現 在 高 A	平成23年度末 現 在 高 B	差 引 A-B	A/B
固 定 資 産	176,422,307,168	177,297,640,566	△ 875,333,398	99.5
流 動 資 産	1,599,736,354	1,770,730,743	△ 170,994,389	90.3
資 産 合 計	178,022,043,522	179,068,371,309	△ 1,046,327,787	99.4

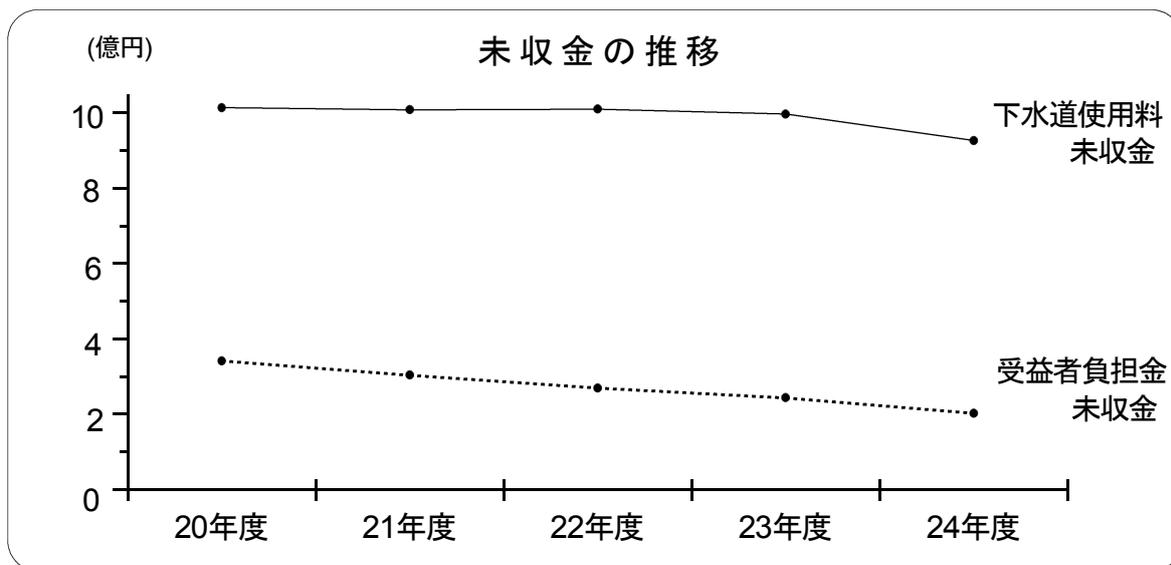
資産について前年度決算額と比較すると0.6%の低下となっている。

前年度決算額に対する増減の主なもの

固 定 資 産	構 築 物	△ 11億5,112万円
	機 械 及 び 装 置	△ 3億5,704万円
	建 設 仮 勘 定	6億5,236万円
流 動 資 産	未 収 金	△ 1億4,711万円

これらの結果を第6表経営分析表でみると，前年度に比し固定資産構成比率は上昇し，流動資産構成比率及び流動資産対固定資産比率は低下している。

なお，未収金については次のとおり，前年度に比し8.7%低下し，収入率については1.5ポイント上昇している。また，第8表経営成績等の主要な項目の推移表のとおり，下水道使用料及び受益者負担金に係る未収金は減少しているが，不納欠損額は増加していることから，今後も未収金の早期回収に努力されたい。



ア 収入状況表

(単位 円・%)

年 度	調 定 額	収 入 額	不納欠損額	未 収 額	収入率
24年度A	12,234,876,402	10,640,367,881	50,209,214	1,544,299,307	87.0
23年度B	11,981,687,156	10,243,985,164	46,285,639	1,691,416,353	85.5
A - B	253,189,246	396,382,717	3,923,575	△ 147,117,046	1.5
A / B	102.1	103.9	108.5	91.3	

注1 平成24年度において、下水道使用料の前年度未収額995,762,538円から減額更正した638,626円は、特別損失で処理した。

2 平成24年度において、受益者負担金の不納欠損処分による27,652,840円は、資本剰余金を減額して処理した。

イ 未収金内訳

(単位 円・%)

科 目	平成24年度末 現在高 A	平成23年度末 現在高 B	差 引 A-B	A/B
1 下水道使用料	925,347,218	995,762,538	△ 70,415,320	92.9
2 負 担 金	154,001,000	165,901,000	△ 11,900,000	92.8
3 その他営業収益	11,981,495	—	11,981,495	皆 増
4 補 助 金	21,425,000	18,687,000	2,738,000	114.7
5 雑 収 益	39,559,023	1,300,294	38,258,729	—
6 受益者負担金	202,013,571	243,155,521	△ 41,141,950	83.1
7 他会計出資金	189,972,000	266,610,000	△ 76,638,000	71.3
計	1,544,299,307	1,691,416,353	△ 147,117,046	91.3

## (2) 負債資本

(単位 円・%)

科 目	平成24年度末 現在高 A	平成23年度末 現在高 B	差 引 A - B	A / B
固 定 負 債	3,580,000,000	3,200,000,000	380,000,000	111.9
流 動 負 債	1,312,947,578	1,504,077,462	△ 191,129,884	87.3
負 債 合 計	4,892,947,578	4,704,077,462	188,870,116	104.0
資 本 金	58,358,715,322	60,483,401,939	△ 2,124,686,617	96.5
剰 余 金	114,770,380,622	113,880,891,908	889,488,714	100.8
資 本 合 計	173,129,095,944	174,364,293,847	△ 1,235,197,903	99.3
負債資本合計	178,022,043,522	179,068,371,309	△ 1,046,327,787	99.4

負債資本について前年度決算額と比較すると0.6%の低下となっている。

### 前年度決算額に対する増減の主なもの

固 定 負 債	企 業 債	3億8,000万円
流 動 負 債	一 時 借 入 金	△ 1億7,000万円
資 本 金	自 己 資 本 金	12億7,776万円
	借 入 資 本 金	△ 34億 245万円
剰 余 金	資 本 剰 余 金	9億2,301万円
	利 益 剰 余 金	△ 3,353万円

これらの結果を第6表経営分析表でみると、前年度に比し固定負債構成比率、流動負債構成比率及び負債比率が低下し、自己資本構成比率は上昇している。

なお、資産と負債資本の関係では、前年度に比し固定比率が低下し、流動比率は上昇し、固定資産対長期資本比率は同率となっている。

## (3) 資金運用

当年度の資金運用及び運転資金の状況は、第7表資金運用表のとおり調達源泉としては、減価償却費、企業債等の67億674万円となっているが、一方運用用途としては、建設改良費、企業債償還金等の66億8,660万円となっていることにより、2,013万円の運転資金が増加し、その結果、当年度末の運転資金は2億8,678万円となっている。

なお、運転資金の増加は、未収金の減等による資金の減少要因があったものの、一時借入金の減等による資金の増加要因が上回ったことによるものである。

## 5 むすび

以上、本事業会計について提出された決算諸表、その他関係書類に基づき審査を行った。

下水道事業は、公共用水域の水質保全や浸水対策など、市民の安全、健康かつ快適な生活環境を支えるために不可欠な社会資本として、重要な役割を果たしているところであり、当年度においても下水管の布設や処理場における水処理施設建設などの施設整備を行ったところである。

事業執行の結果、損益状況においては4億6,022万円の純利益を生じているが、前年度の純利益は減債積立金として処分され、企業債償還金の一部に充てられたことから、当年度末の利益剰余金は純利益と同額となっている。

資金状況に関しては、当年度末で2億8,678万円の運転資金を有しており、前年度末に比し2,013万円の資金増となっている。

また、当年度末の企業債残高（資本費平準化債を含む。）は、第8表経営成績等の主要な項目の推移表のとおり、前年度末に比し30億2,245万円減の496億7,765万円となっている。

当年度の決算状況を前年度と比較すると、損益では純利益が3,353万円減少しているが、これは主に、営業費用で処理場費のほか減価償却費や資産減耗費の増によるものであり、資金収支では、一般会計繰入金の減や建設改良費の増による資金の減少要因があったものの、資本費平準化債も含めた企業債の発行額の増により、結果として資金増が確保されている。

このように前年度に比し損益は純利益が減少する一方、資金収支では資金増となっている。損益については、収益の面では経営の根幹である下水道使用料が人口の減少等により今後減少傾向となることが予想され、費用の面では企業債残高の減により支払利息が減少していく見込みがあるものの、今後増加していくと思われる下水管布設替工事に伴う資産減耗費の増や施設の整備に伴う減価償却費の増など、損益を悪化させる要因も見込まれる。また、資金収支についても資本費平準化債の活用により資金を確保しなければならない状況がしばらく続くと思われ、そうした中で、施設等の更新や下水管の布設替等を行わなければならないことから、依然として厳しい財政運営が求められる現状である。

こうした経営環境の中で、下水道事業を安定的に運営できるよう、資金収支に十分配慮しながら、計画的かつ効率的に既存施設及び設備の更新を行うなど、後期財政計画における各種取組を着実に推進し、維持管理の時代に即した経営がなされるよう望むものである。

(附表)  
第1表

## 予 算 決 算 対 照 比 率 表

### 収 益 的 収 支

下水道事業 (単位 円・%)

科 目	予算現額 A	構成比率		決算額 B	構成比率		B / A		科 目	予算現額 A	構成比率		決算額 B	構成比率		B / A	
		平成24年度	平成23年度		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度			平成24年度	平成23年度		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度
下水道事業収益	7,055,081,000	100.0	100.0	7,125,290,299	100.0	100.0	101.0	101.4	下水道事業費用	6,761,452,000	100.0	100.0	6,621,928,483	100.0	100.0	97.9	97.8
営業収益	6,669,744,000	94.5	96.2	6,721,195,341	94.3	96.5	100.8	101.7	営業費用	5,396,129,000	79.8	77.7	5,282,364,626	79.8	77.8	97.9	97.9
営業外収益	385,336,000	5.5	3.8	404,088,224	5.7	3.5	104.9	93.7	営業外費用	1,304,331,000	19.3	21.4	1,287,315,132	19.4	21.4	98.7	97.7
特別利益	1,000	0.0	0.0	6,734	0.0	—	673.4	—	特別損失	50,992,000	0.8	0.8	52,248,725	0.8	0.8	102.5	102.2
									予備費	10,000,000	0.1	0.1	0	—	—	—	—
合 計	7,055,081,000	100.0	100.0	7,125,290,299	100.0	100.0	101.0	101.4	合 計	6,761,452,000	100.0	100.0	6,621,928,483	100.0	100.0	97.9	97.8

注 下水道事業収益の決算額には仮受消費税及び地方消費税284,979,702円、下水道事業費用の決算額には仮払消費税及び地方消費税98,443,381円が含まれている。

### 資 本 的 収 支

(単位 円・%)

科 目	予算現額 A	構成比率		決算額 B	構成比率		B / A		科 目	予算現額 A	構成比率		決算額 B	構成比率		B / A	
		平成24年度	平成23年度		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度			平成24年度	平成23年度		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度
資本的収入	3,732,515,000	54.1	49.5	3,446,461,216	51.8	47.0	92.3	93.2	資本的支出	6,893,518,000	100.0	100.0	6,658,955,128	100.0	100.0	96.6	98.1
企業債	1,673,400,000	24.3	15.2	1,502,000,000	22.6	12.8	89.8	82.4	建設改良費	2,353,965,000	34.1	30.4	2,134,502,531	32.1	29.3	90.7	94.3
国庫補助金	929,000,000	13.5	12.6	827,684,708	12.4	12.2	89.1	95.0	企業債償還金	4,534,453,000	65.8	69.5	4,524,452,597	67.9	70.7	99.8	99.9
受益者負担金	17,508,000	0.2	0.4	18,328,200	0.3	0.4	104.7	117.9	その他の支出	100,000	0.0	0.0	0	—	0.0	—	87.3
工事負担金	1,000,000	0.0	0.0	1,089,558	0.0	—	109.0	—	予備費	5,000,000	0.1	0.1	0	—	—	—	—
他会計出資金	796,076,000	11.5	16.2	784,012,000	11.8	16.4	98.5	99.4									
他会計補助金	303,835,000	4.4	5.1	303,835,000	4.6	5.2	100.0	100.0									
他町負担金	11,322,000	0.2	0.0	9,454,000	0.1	0.0	83.5	100.0									
その他の収入	374,000	0.0	0.0	57,750	0.0	0.0	15.4	171.3									
補填財源	3,161,003,000	45.9	50.5	3,212,493,912	48.2	53.0	101.6	102.9									
減債積立金	0	—	—	266,653,281	4.0	6.2	—	—									
過年度分損益勘定留保資金等	0	—	1.3	0	—	1.2	—	86.2									
当年度分損益勘定留保資金等	2,790,964,000	40.5	41.2	2,772,406,520	41.6	42.1	99.3	100.3									
当年度利益剰余金処分額	137,688,000	2.0	2.4	173,434,111	2.6	3.5	126.0	139.0									
繰越利益剰余金処分金	232,351,000	3.4	5.6	0	—	—	—	—									
合 計	6,893,518,000	100.0	100.0	6,658,955,128	100.0	100.0	96.6	98.1	合 計	6,893,518,000	100.0	100.0	6,658,955,128	100.0	100.0	96.6	98.1

注 資本的収入の決算額には仮受消費税及び地方消費税452,937円、資本的支出の決算額には仮払消費税及び地方消費税92,326,333円が含まれている。

## 損益計算書対前年度比較表

下水道事業(単位 円・%)

科目	平成24年度	構成率	平成23年度	差引増減	増減率	科目	平成24年度	構成率	平成23年度	差引増減	増減率
1 営業費用	5,184,209,745	81.2	5,080,385,364	103,824,381	2.0	1 営業収益	6,446,294,150	94.2	6,641,757,559	△ 195,463,409	△ 2.9
(1) 管渠費	319,042,864	5.0	302,177,397	16,865,467	5.6	(1) 下水道使用料	5,700,278,057	83.3	5,964,280,987	△ 264,002,930	△ 4.4
(2) 処理場費	1,159,895,030	18.2	1,118,144,646	41,750,384	3.7	(2) 負担金	672,924,430	9.8	677,476,572	△ 4,552,142	△ 0.7
(3) ポンプ場費	19,381,914	0.3	23,911,078	△ 4,529,164	△ 18.9	(3) その他営業収益	73,091,663	1.1	—	73,091,663	—
(4) 業務費	121,692,676	1.9	99,452,914	22,239,762	22.4	2 営業外収益	396,487,834	5.8	249,039,247	147,448,587	59.2
(5) 総係費	333,317,440	5.2	324,498,397	8,819,043	2.7	(1) 補助金	192,034,000	2.8	189,077,000	2,957,000	1.6
(6) 職員給与費	452,137,514	7.1	485,642,708	△ 33,505,194	△ 6.9	(2) 雑収益	198,308,834	2.9	17,462,074	180,846,760	—
(7) 減価償却費	2,736,606,246	42.9	2,712,713,988	23,892,258	0.9	(3) 受託事業収益	6,145,000	0.1	42,500,173	△ 36,355,173	△ 85.5
(8) 資産減耗費	42,136,061	0.6	13,844,236	28,291,825	204.4						
2 営業外費用	1,146,107,361	18.0	1,263,750,614	△ 117,643,253	△ 9.3						
(1) 支払利息及び企業債 取 扱 諸 費	1,123,227,821	17.6	1,205,482,077	△ 82,254,256	△ 6.8						
(2) 受託事業費	5,770,000	0.1	41,506,705	△ 35,736,705	△ 86.1						
(3) 雑支出	17,109,540	0.3	16,761,832	347,708	2.1						
経常費用	6,330,317,106	99.2	6,344,135,978	△ 13,818,872	△ 0.2	経常収益	6,842,781,984	100.0	6,890,796,806	△ 48,014,822	△ 0.7
経常利益(△損失)	512,464,878	—	546,660,828	△ 34,195,950	△ 6.3						
3 特別損失	52,248,725	0.8	52,906,848	△ 658,123	△ 1.2	3 特別利益	6,734	0.0	0	6,734	—
(1) 過年度損益修正損	52,040,601	0.8	47,477,848	4,562,753	9.6	(1) 過年度損益修正益	6,734	0.0	0	6,734	—
(2) 固定資産売却損	208,124	0.0	—	208,124	—						
その他特別損失	—	—	5,429,000	△ 5,429,000	—						
総費用	6,382,565,831	100.0	6,397,042,826	△ 14,476,995	△ 0.2	総収益	6,842,788,718	100.0	6,890,796,806	△ 48,008,088	△ 0.7
当年度純利益(△損失)	460,222,887	—	493,753,980	△ 33,531,093	△ 6.8						
合 計	6,842,788,718	—	6,890,796,806	△ 48,008,088	△ 0.7	合 計	6,842,788,718	—	6,890,796,806	△ 48,008,088	△ 0.7

## 費用使途別比率表

下水道事業（単位 円・％）

科 目	人 件 費				物 件 費 ・ そ の 他 の 経 費				計			
	金 額	構 成 比 率		前 年 度 に 対 する 比 率	金 額	構 成 比 率		前 年 度 に 対 する 比 率	金 額	構 成 比 率		前 年 度 に 対 する 比 率
		平 成 24 年 度	平 成 23 年 度			平 成 24 年 度	平 成 23 年 度			平 成 24 年 度	平 成 23 年 度	
営業費用	452,658,401	7.1	7.6	93.1	4,731,551,344	74.1	71.9	103.0	5,184,209,745	81.2	79.5	102.0
管渠費	0	—	—	—	319,042,864	5.0	4.7	105.6	319,042,864	5.0	4.7	105.6
処理場費	0	—	—	—	1,159,895,030	18.2	17.5	103.7	1,159,895,030	18.2	17.5	103.7
ポンプ場費	0	—	—	—	19,381,914	0.3	0.4	81.1	19,381,914	0.3	0.4	81.1
業務費	0	—	—	—	121,692,676	1.9	1.6	122.4	121,692,676	1.9	1.6	122.4
総係費	520,887	0.0	0.0	97.4	332,796,553	5.2	5.1	102.7	333,317,440	5.2	5.1	102.7
職員給与費	452,137,514	7.1	7.6	93.1	0	—	—	—	452,137,514	7.1	7.6	93.1
減価償却費	0	—	—	—	2,736,606,246	42.9	42.4	100.9	2,736,606,246	42.9	42.4	100.9
資産減耗費	0	—	—	—	42,136,061	0.6	0.2	304.4	42,136,061	0.6	0.2	304.4
営業外費用	0	—	—	—	1,146,107,361	18.0	19.7	90.7	1,146,107,361	18.0	19.7	90.7
支払利息及び企業 債取扱諸費	0	—	—	—	1,123,227,821	17.6	18.8	93.2	1,123,227,821	17.6	18.8	93.2
受託事業費	0	—	—	—	5,770,000	0.1	0.6	13.9	5,770,000	0.1	0.6	13.9
雑支出	0	—	—	—	17,109,540	0.3	0.3	102.1	17,109,540	0.3	0.3	102.1
特別損失	0	—	—	—	52,248,725	0.8	0.8	98.8	52,248,725	0.8	0.8	98.8
過年度損益修正損	0	—	—	—	52,040,601	0.8	0.7	109.6	52,040,601	0.8	0.7	109.6
固定資産売却損	0	—	—	—	208,124	0.0	—	—	208,124	0.0	—	—
その他特別損失	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	0.1	—
合 計	452,658,401	7.1	7.6	93.1	5,929,907,430	92.9	92.4	100.3	6,382,565,831	100.0	100.0	99.8

## 業 務 実 績 表

下 水 道 事 業

項 目	平成24年度	平成23年度	前年度に対する比較		備 考	
			平成24年度	平成23年度		
処 理 区 域 面 積	8,011 ha	7,993 ha	100.2 %	100.4 %		
総 人 口	349,332 人	350,511 人	99.7 %	99.6 %		
計 画 排 水 人 口	332,600 人	332,600 人	100.0 %	89.4 %		
処 理 区 域 内 人 口	337,453 人	338,319 人	99.7 %	99.6 %		
排 水 設 備 設 置 済 人 口	326,076 人	326,235 人	100.0 %	99.7 %		
水 洗 便 所 設 置 済 人 口	324,815 人	324,684 人	100.0 %	99.8 %		
普及率	下水道処理人口普及率	96.6 %	96.5 %	0.1 ポイント	0.0 ポイント	$\frac{\text{処理区域内人口}}{\text{総人口}} \times 100$
	水洗化率	96.3 %	96.0 %	0.3 ポイント	0.2 ポイント	$\frac{\text{水洗便所設置済人口}}{\text{処理区域内人口}} \times 100$
	排水設備設置率	96.6 %	96.4 %	0.2 ポイント	0.0 ポイント	$\frac{\text{排水設備設置済人口}}{\text{処理区域内人口}} \times 100$
下 水 管 延 長	1,903,864 m	1,897,516 m	100.3 %	100.3 %		
職 員 数	71 人 ( 3 人)	75 人 ( 3 人)	94.7 % ( 100.0 %)	100.0 % ( 75.0 %)	( )は、再任用短時間勤務職員数で外数である。	
年 間 総 処 理 水 量	52,198,245 m <sup>3</sup>	55,907,062 m <sup>3</sup>	93.4 %	106.6 %		
年 間 汚 水 量	42,647,713 m <sup>3</sup>	46,576,986 m <sup>3</sup>	91.6 %	101.9 %		
年 間 有 収 汚 水 量 (うち一般使用者分)	32,869,637 m <sup>3</sup> ( 31,746,849 m <sup>3</sup> )	35,565,765 m <sup>3</sup> ( 31,905,339 m <sup>3</sup> )	92.4 % ( 99.5 %)	100.5 % ( 99.8 %)		
有 収 率	77.1 %	76.4 %	0.7 ポイント	△ 1.0 ポイント	$\frac{\text{年間有収汚水量}}{\text{年間汚水量}} \times 100$	

## 貸借対照表対前年度比較表

下水道事業 (単位 円・%)

科 目	平成24年度	構 成 比 率	平成23年度	差 引 増 減	増減率	科 目	平成24年度	構 成 比 率	平成23年度	差 引 増 減	増減率
1 固定資産	176,422,307,168	99.1	177,297,640,566	△ 875,333,398	△ 0.5	1 固定負債	3,580,000,000	2.0	3,200,000,000	380,000,000	11.9
(1) 有形固定資産	175,862,081,443	98.8	176,721,494,937	△ 859,413,494	△ 0.5	(1) 企業債	3,580,000,000	2.0	3,200,000,000	380,000,000	11.9
イ 土地	1,010,110,071	0.6	1,010,110,071	0	0.0	2 流動負債	1,312,947,578	0.7	1,504,077,462	△ 191,129,884	△ 12.7
ロ 建物	14,565,410	0.0	18,269,707	△ 3,704,297	△ 20.3	(1) 一時借入金	680,000,000	0.4	850,000,000	△ 170,000,000	△ 20.0
ハ 建物附属設備	58,557	0.0	645,974	△ 587,417	△ 90.9	(2) 未払金	630,201,109	0.3	651,084,480	△ 20,883,371	△ 3.2
ニ 構築物	152,099,344,929	85.5	153,250,471,316	△ 1,151,126,387	△ 0.8	(3) 預り金	2,746,469	0.0	2,992,982	△ 246,513	△ 8.2
ホ 機械及び装置	21,948,986,320	12.3	22,306,032,987	△ 357,046,667	△ 1.6	<b>負 債 合 計</b>	<b>4,892,947,578</b>	<b>2.7</b>	<b>4,704,077,462</b>	<b>188,870,116</b>	<b>4.0</b>
ヘ 車両及び運搬具	3,379,391	0.0	1,757,915	1,621,476	92.2	3 資本金	58,358,715,322	32.8	60,483,401,939	△ 2,124,686,617	△ 3.5
ト 器具及び備品	8,662,331	0.0	9,597,367	△ 935,036	△ 9.7	(1) 自己資本金	12,261,060,471	6.9	10,983,294,491	1,277,765,980	11.6
チ 建設仮勘定	776,974,434	0.4	124,609,600	652,364,834	523.5	(2) 借入資本金	46,097,654,851	25.9	49,500,107,448	△ 3,402,452,597	△ 6.9
(2) 無形固定資産	550,969,725	0.3	566,889,629	△ 15,919,904	△ 2.8	4 剰余金	114,770,380,622	64.5	113,880,891,908	889,488,714	0.8
イ 電話加入権	2,540,500	0.0	2,540,500	0	0.0	(1) 資本剰余金	114,310,157,735	64.2	113,387,137,928	923,019,807	0.8
ロ 施設利用権	548,429,225	0.3	564,349,129	△ 15,919,904	△ 2.8	イ 受贈財産評価額	13,324,371,106	7.5	13,319,076,634	5,294,472	0.0
(3) 投資	9,256,000	0.0	9,256,000	0	0.0	ロ 寄附金	12,072,944	0.0	12,073,051	△ 107	0.0
イ 出資金	9,256,000	0.0	9,256,000	0	0.0	ハ 国庫補助金	76,710,158,746	43.1	76,058,918,087	651,240,659	0.9
2 流動資産	1,599,736,354	0.9	1,770,730,743	△ 170,994,389	△ 9.7	ニ 工事負担金	1,938,902,519	1.1	1,937,865,544	1,036,975	0.1
(1) 現金預金	55,437,047	0.0	79,314,390	△ 23,877,343	△ 30.1	ホ 受益者負担金	12,478,494,673	7.0	12,512,407,886	△ 33,913,213	△ 0.3
(2) 未収金	1,544,299,307	0.9	1,691,416,353	△ 147,117,046	△ 8.7	ヘ 他町負担金	2,102,744,624	1.2	2,098,467,274	4,277,350	0.2
						ト 他会計補助金	7,743,413,123	4.3	7,448,329,452	295,083,671	4.0
						(2) 利益剰余金	460,222,887	0.3	493,753,980	△ 33,531,093	△ 6.8
						イ 当年度未処分利益剰余金	460,222,887	0.3	493,753,980	△ 33,531,093	△ 6.8
						<b>資 本 合 計</b>	<b>173,129,095,944</b>	<b>97.3</b>	<b>174,364,293,847</b>	<b>△ 1,235,197,903</b>	<b>△ 0.7</b>
資 産 合 計	178,022,043,522	100.0	179,068,371,309	△ 1,046,327,787	△ 0.6	負 債 資 本 合 計	178,022,043,522	100.0	179,068,371,309	△ 1,046,327,787	△ 0.6

# 経 営 分 析 表

下水道事業 (単位 %)

項 目	比 率			算 式	説 明	
	平成24年度	平成23年度	平成22年度			
構 成 比 率	固定資産構成比率	99.1	99.0	99.0	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$	総資産中、固定資産が占める割合を示す。この比率の大きいことは公営企業の特徴であるが小さい方が望ましい。
	流動資産構成比率	0.9	1.0	1.0	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} \times 100$	総資産中、流動資産が占める割合を示す。この比率の小さいことは公営企業の特徴であるが大きい方が望ましい。
	固定負債構成比率	27.9	29.4	31.4	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本中、固定負債が占める割合を示す。この比率は小さい方が望ましい。
	流動負債構成比率	0.7	0.9	0.7	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本中、流動負債が占める割合を示す。この比率は小さい方が望ましい。
	自己資本構成比率	71.4	69.7	67.9	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本中、自己資本が占める割合を示す。この比率は大きい方が望ましい。
財 務 比 率	流動資産対固定資産比率	0.9	1.0	1.0	$\frac{\text{流動資産}}{\text{固定資産}} \times 100$	流動資産と固定資産の比率を表す。この比率の小さいことは公営企業の特徴であるが大きい方が望ましい。
	負債比率	40.1	43.4	47.3	$\frac{\text{負債}}{\text{自己資本}} \times 100$	負債と自己資本の比率を表す。負債を自己資本より超過させないことが健全経営の第一義であることから、率としては100%以下が望ましい。
	固定比率	138.9	142.0	145.9	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$	固定資産と自己資本の比率を表す。固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであることから、100%以下が望ましい。
	固定資産対長期資本比率	99.8	99.8	99.7	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{自己資本}} \times 100$	固定資産をうむための長期資本(固定負債+自己資本)の役割を%で表したものの、100%を超えることは過大投資が行われたことを示す。
	流動比率	121.8	117.7	136.6	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期負債の支払能力をみるのに用いる。理想比率としては200%以上であること。この比率が100%を割っていることは、不良債務があることを示している。
	酸性試験比率	121.8	117.7	136.6	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期負債の返済に必要な現金と換金されやすい未収金による支払能力をみるのに用いる。理想比率は100%以上。
	現金預金比率	4.2	5.3	5.4	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期負債の即時的支払能力をみるのに用いる。理想比率は20%以上。
その他	利子負担率	2.2	2.2	2.2	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{(\text{期首借入} + \text{期末借入}) \div 2} \times 100$	有利子負債及び借入資本金の平均に占める利息の割合を表す。%の大きいほど金利負担増大による危険性が大きいことを示す。

注 固定負債 = 貸借対照表上の固定負債 + 借入資本金  
 負債 = 貸借対照表上の固定負債 + 流動負債 + 借入資本金  
 自己資本 = 自己資本金 + 剰余金  
 借入 = 有利子負債 (企業債+他会計借入金+一時借入金) + 借入資本金

## 資 金 運 用 表

## 1 長期資金

下水道事業(単位 円)

資金の運用使途	金額	資金の調達源泉	金額
		減価償却費	2,736,606,246
		資産減耗費	20,106,061
		固定資産売却損	208,124
		消費税及び地方消費税資本的収支調整額	43,138,929
		当年度純利益	460,222,887
収益的収支の資金剰余	3,260,282,247		
建設改良費	2,134,502,531	企業債	1,502,000,000
企業債償還金	4,524,452,597	国庫補助金	827,684,708
		受益者負担金	18,328,200
		工事負担金	1,089,558
		他会計出資金	784,012,000
		他会計補助金	303,835,000
		他町負担金	9,454,000
		その他の収入	57,750
		資本的収支の資金不足	3,212,493,912
過年度分受益者負担金の減	27,652,840		
運転資金の増加	20,135,495		
合計	6,706,743,463	合計	6,706,743,463

## 2 運転資金

(単位 円)

科目	区分	平成24年度末	平成23年度末	資金	
				増加	減少
流動資産	A	1,599,736,354	1,770,730,743		170,994,389
現金預金		55,437,047	79,314,390		23,877,343
未収金		1,544,299,307	1,691,416,353		147,117,046
流動負債	B	1,312,947,578	1,504,077,462	191,129,884	
一時借入金		680,000,000	850,000,000	170,000,000	
未払金		630,201,109	651,084,480	20,883,371	
預り金		2,746,469	2,992,982	246,513	
運転資金	A - B	286,788,776	266,653,281	20,135,495	

## 経営成績等の主要な項目の推移表

下水道事業（単位 円）

区 分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
経 営 成 績	総 収 益	7,135,233,426	6,954,863,620	6,834,291,272	6,890,796,806	6,842,788,718
	下 水 道 使 用 料	5,916,265,273	5,914,836,671	5,962,365,312	5,964,280,987	5,700,278,057
	総 費 用	7,107,370,180	6,889,261,301	6,425,257,877	6,397,042,826	6,382,565,831
	人 件 費	545,266,671	585,330,225	449,449,774	486,177,563	452,658,401
	減 価 償 却 費	2,679,101,557	2,699,617,779	2,712,512,326	2,712,713,988	2,736,606,246
	支 払 利 息 等	1,900,042,429	1,543,176,645	1,293,638,130	1,205,482,077	1,123,227,821
	経 常 利 益	73,180,659	119,714,493	449,828,460	546,660,828	512,464,878
	当 年 度 純 利 益	27,863,246	65,602,319	409,033,395	493,753,980	460,222,887
	使 用 料 単 価	179.34	179.35	178.92	179.13	179.55
	処 理 原 価	186.31	177.70	167.38	164.61	166.20
使用料単価－処理原価	△ 6.97	1.65	11.54	14.52	13.35	
財 政 状 態	流 動 資 産	1,953,132,850	1,583,341,646	1,808,087,938	1,770,730,743	1,599,736,354
	下水道使用料未収金	1,012,522,460	1,007,208,432	1,008,819,381	995,762,538	925,347,218
	受益者負担金未収金	341,153,996	303,380,462	268,808,133	243,155,521	202,013,571
	流 動 負 債	1,829,042,466	1,344,961,859	1,323,368,979	1,504,077,462	1,312,947,578
	年 度 末 運 転 資 金	124,090,384	238,379,787	484,718,959	266,653,281	286,788,776
	企 業 債 年 度 末 残 高	63,724,745,883	60,259,582,230	56,495,728,358	52,700,107,448	49,677,654,851
	利 益 剰 余 金	27,863,246	65,602,319	409,033,395	493,753,980	460,222,887
そ の 他	建 設 改 良 費	1,520,431,929	1,558,809,503	1,320,341,477	1,915,505,096	2,134,502,531
	企 業 債 償 還 金	11,476,991,307	9,228,563,653	5,277,053,872	4,629,920,910	4,524,452,597
	一 般 会 計 繰 入 金	3,085,627,000	2,852,393,000	2,739,003,000	2,541,816,000	2,220,442,000
	不 納 欠 損 額	37,805,586	42,470,484	38,851,084	46,285,639	50,209,214

注1 建設改良費には、仮払消費税及び地方消費税が含まれている。

注2 一般会計繰入金は、収益的収入と資本的収入の合計である。

# 旭川市病院事業会計

# 旭川市病院事業会計

## 1 業務等の概況

平成24年度の業務実績についてみると、年間患者数は入院144,449人、外来237,107人、合計381,556人で前年度に比し1.4%減少となっており、病床利用率は70.3%で前年度と同率となっている。

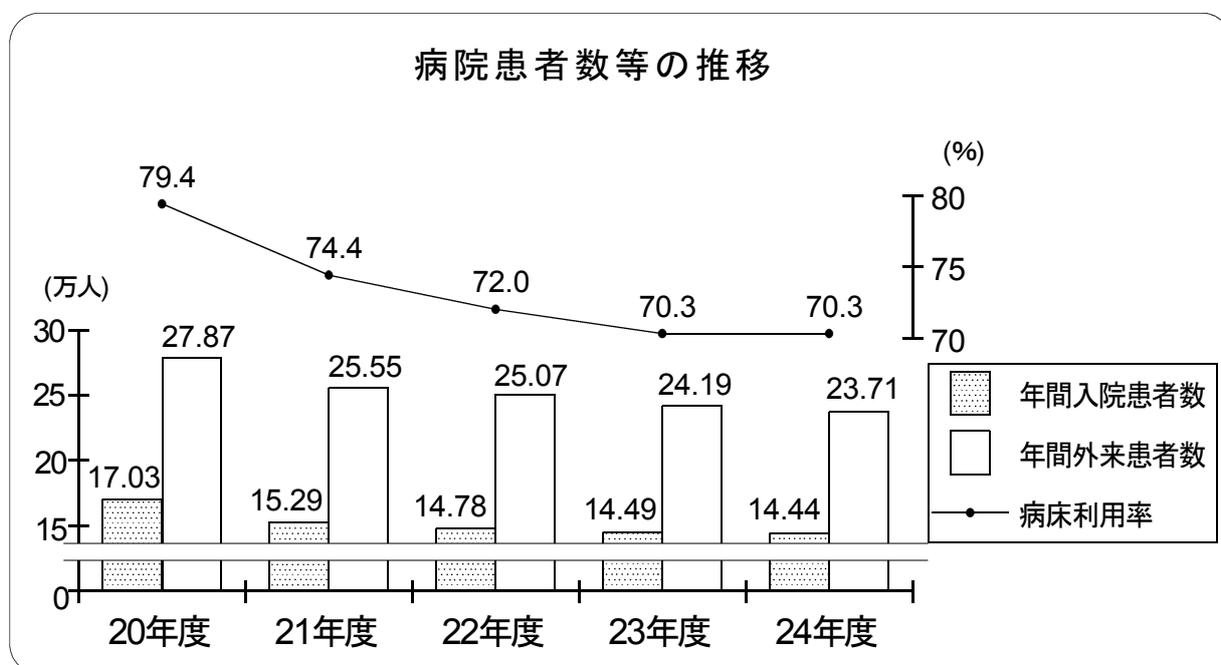
患者1人1日当たりの医業収支では収益が27,771円（対前年比105.5%）、費用が29,394円（対前年比100.7%）となっており、費用が収益を上回っている。

建設改良事業については、医療機器等の購入が引き続き行われている。

これらの結果、経営成績でみると、収益では前年度に比し3億3,600万円増の114億5,045万円となり、一方、費用では1億3,121万円減の118億660万円となり、費用が収益を上回ったことにより3億5,614万円の純損失を生じている。

次に、当年度末の財政状態については、前年度末に比して資産で4億9,211万円の減、負債で8,465万円の増、資本で5億7,677万円の減となった結果、年度末残高は資産152億6,615万円、負債11億195万円、資本141億6,420万円となり、資産と負債資本合計は、いずれも152億6,615万円で、前年度末より4億9,211万円の減となっている。

また、資金運用及び運転資金の状況については、収益的収支で5億1,964万円の資金剰余、資本的収支で4億130万円の資金不足を生じた結果、当年度末における運転資金は前年度末に比し1億1,834万円増加し、26億8,386万円となっている。



## 2 予算の執行状況（決算報告書）

### (1) 収益的収支

#### ア 収 入

(単位 円・%)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	予算現額に対する 決算額の増減	執 行 率
医 業 収 益	10,991,117,000	10,605,734,478	△ 385,382,522	96.5
医 業 外 収 益	315,008,000	278,509,668	△ 36,498,332	88.4
一般会計負担金	579,084,000	578,767,000	△ 317,000	99.9
特 別 利 益	252,000	440,905	188,905	175.0
合 計	11,885,461,000	11,463,452,051	△ 422,008,949	96.4

#### イ 支 出

(単位 円・%)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額	執 行 率
医 業 費 用	11,794,798,000	11,296,880,589	497,917,411	95.8
医 業 外 費 用	465,605,000	460,441,027	5,163,973	98.9
旭川医科大学学生 臨床医学教育費用	58,978,000	56,431,775	2,546,225	95.7
特 別 損 失	6,917,000	5,690,110	1,226,890	82.3
予 備 費	4,000,000	0	4,000,000	—
合 計	12,330,298,000	11,819,443,501	510,854,499	95.9

収益的収入の予算現額に対する執行率は96.4%であり、4億2,200万円の減となっている。

一方、収益的支出の予算現額に対する執行率は95.9%であり、5億1,085万円の不用額を生じている。

#### 収入の主なもの

本院 医業 収 益	入 院 収 益	74億8,112万円
	外 来 収 益	29億4,072万円

#### 支出の主なもの

本院 医業 費 用	給 与 費	54億3,346万円
	材 料 費	34億 920万円
	経 費	15億6,620万円
	減 価 償 却 費	7 億8,488万円

#### 不用額の主なもの

本院 医業 費 用	給 与 費	2 億 340万円
	材 料 費	1 億1,964万円
	経 費	1 億8,036万円

## (2) 資本的収支

## ア 収 入

(単位 円・%)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	予算現額に対する 決算額の増減	執 行 率
企 業 債	120,000,000	100,000,000	△ 20,000,000	83.3
出 資 金	632,995,000	632,995,000	0	100.0
補 助 金	74,586,000	78,513,000	3,927,000	105.3
負 担 金	31,507,000	31,824,000	317,000	101.0
固定資産売却代金	148,000	148,095	95	100.1
寄 附 金	0	1,000,000	1,000,000	—
合 計	859,236,000	844,480,095	△ 14,755,905	98.3

## イ 支 出

(単位 円・%)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	不 用 額	執 行 率
建 設 改 良 費	257,600,000	243,194,868	14,405,132	94.4
企業債償還金	1,002,586,000	1,002,585,324	676	100.0
予 備 費	1,000,000	0	1,000,000	—
合 計	1,261,186,000	1,245,780,192	15,405,808	98.8

資本的収入の予算現額に対する執行率は98.3%であり、1,475万円の減となっている。

一方、資本的支出の予算現額に対する執行率は98.8%であり、1,540万円の不用額を生じている。

## 収入の主なもの

企 業 債	企 業 債	1 億円
出 資 金	一 般 会 計 出 資 金	6 億3,299万円

## 支出の主なもの

建 設 改 良 費	器 械 備 品	2 億3,867万円
企 業 債 償 還 金	企 業 債 償 還 金	10億 258万円

なお、資本的収支の不足額4億130万円は、過年度分損益勘定留保資金4億114万円及び当年度分損益勘定留保資金等15万円で補填している。

### 3 経営成績（損益計算書）

（単位 円）

年 度	総 収 益	総 費 用	当 年 度 純 損 失
平成24年度	11,450,456,378	11,806,601,996	356,145,618
平成23年度	11,114,448,656	11,937,815,069	823,366,413
増 減	336,007,722	△ 131,213,073	△ 467,220,795

#### (1) 収 益

（単位 円・%）

科 目	平成24年度 A	平成23年度 B	差 引 A－B	A／B
医 業 収 益	10,596,220,180	10,186,959,980	409,260,200	104.0
医 業 外 収 益	275,028,293	310,867,676	△ 35,839,383	88.5
一般会計負担金	578,767,000	616,621,000	△ 37,854,000	93.9
特 別 利 益	440,905	—	440,905	皆 増
合 計	11,450,456,378	11,114,448,656	336,007,722	103.0

#### (2) 費 用

（単位 円・%）

科 目	平成24年度 A	平成23年度 B	差 引 A－B	A／B
医 業 費 用	11,215,577,347	11,297,986,109	△ 82,408,762	99.3
医 業 外 費 用	529,006,600	558,966,887	△ 29,960,287	94.6
旭川医科大学学生 臨床医学教育費用	56,327,939	75,151,543	△ 18,823,604	75.0
特 別 損 失	5,690,110	5,710,530	△ 20,420	99.6
合 計	11,806,601,996	11,937,815,069	△ 131,213,073	98.9

当年度の経営成績については、上記のとおり総費用が総収益を上回ったことにより3億5,614万円の純損失が生じたものの、前年度に比し4億6,722万円減少している。

収益について前年度決算額と比較すると第2表損益計算書対前年度比較表のとおり、本院医業収益の入院収益等で3億9,735万円増加したものの、本院医業外収益のその他医業外収益等で1億138万円減少したことなどにより、総収益で3億3,600万円増加し、3.0%の上昇となっている。

前年度決算額に対する増減の主なもの

本院医業収益	入 院 収 益	2億4,555万円
	外 来 収 益	1億5,180万円
本院医業外収益	そ の 他 医 業 外 収 益	△ 6,375万円
一般会計負担金	本 院	△ 3,763万円

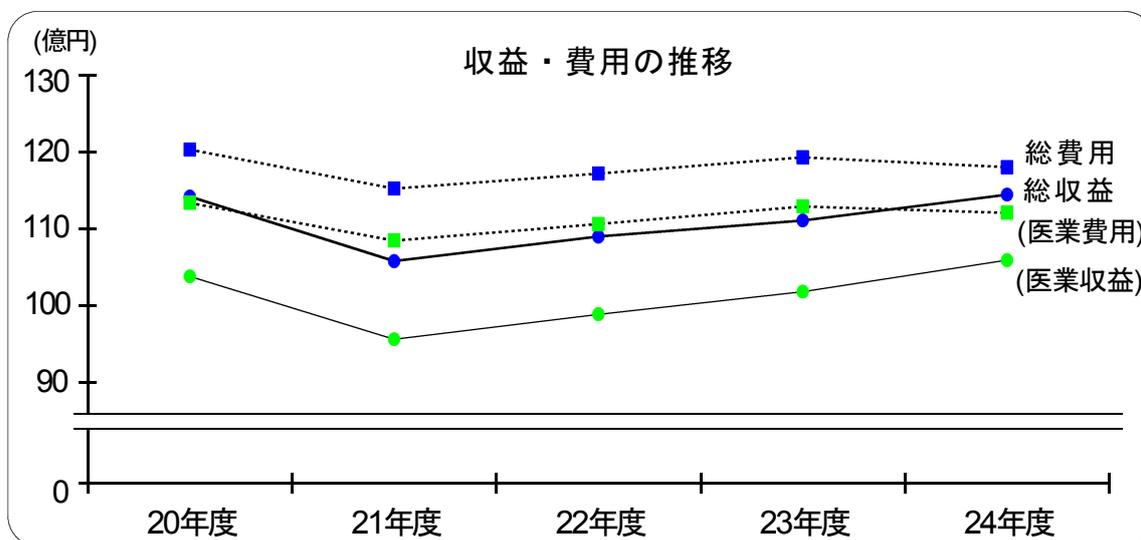
一方、費用について前年度決算額と比較すると第2表損益計算書対前年度比較表

のとおり，本院医業費用の給与費で2億2,813万円増加したものの，本院医業費用の減価償却費等で3億6,337万円減少したことなどにより，総費用で1億3,121万円減少し，1.1%の低下となっている。

なお，第3表費用用途別比率表のとおり，「人件費」では本院医業費用の給与費等が増加したことにより4.0%上昇したものの，「物件費・その他の経費」において，本院医業費用の減価償却費等で減少したことにより5.1%低下したことから，総費用でも1.1%低下している。

前年度決算額に対する増減の主なもの

本院医業費用	給与費	2億2,813万円
	経費	△ 9,339万円
	減価償却費	△ 2億6,998万円



#### 4 財政状態（貸借対照表）

##### (1) 資産

(単位 円・%)

科目	平成24年度末 現在高 A	平成23年度末 現在高 B	差引 A-B	A/B
固定資産	11,227,174,012	11,880,977,075	△ 653,803,063	94.5
流動資産	3,785,815,588	3,582,816,427	202,999,161	105.7
繰延勘定	253,169,661	294,483,459	△ 41,313,798	86.0
資産合計	15,266,159,261	15,758,276,961	△ 492,117,700	96.9

資産について前年度決算額と比較すると3.1%の低下となっている。

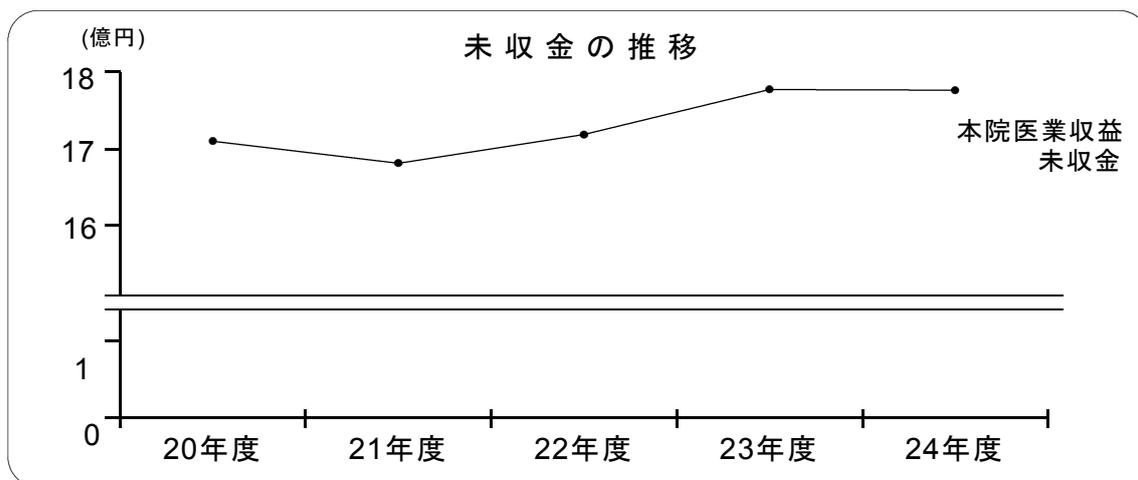
前年度決算額に対する増減の主なもの

固定資産	建物	△ 5億3,066万円
	器械備品	△ 1億 356万円
流動資産	現金預金	1億7,562万円

繰延勘定 控除対象外消費税額 △ 4,131万円

これらの結果を第6表経営分析表でみると、前年度に比し固定資産構成比率が低下し、流動資産構成比率及び流動資産対固定資産比率は上昇している。

なお、未収金については次のとおり、道補助金等の未収金の増加により前年度に比し0.9%上昇し、窓口収益に係る未収金は前年度に比し4.5%低下したところであるが、今後ともその発生の未然防止に取り組むとともに、債権の早期回収により一層努力されたい。



#### ア 収入状況表

(単位 円・%)

年 度	調 定 額	収 入 額	不納欠損額	未 収 額	収入率
24年度A	14,114,621,530	12,288,508,220	6,018,607	1,820,094,703	87.1
23年度B	13,647,927,807	11,837,269,990	6,228,215	1,804,429,602	86.7
A - B	466,693,723	451,238,230	△ 209,608	15,665,101	0.4
A / B	103.4	103.8	96.6	100.9	

注 平成24年度において、前年度未収額1,804,429,602円から減額更正した168,044円は、雑損失で処理した。

#### イ 未収金内訳

(単位 円・%)

科 目	平成24年度末 現在高 A	平成23年度末 現在高 B	差 引 A - B	A / B
1 本院医業収益 (うち窓口収益)	1,770,387,164 (107,289,761)	1,771,486,214 (112,336,621)	△ 1,099,050 (△ 5,046,860)	99.9 (95.5)
2 本院医業外収益	24,315,416	24,807,415	△ 491,999	98.0
3 そ の 他	25,392,123	8,135,973	17,256,150	312.1
計	1,820,094,703	1,804,429,602	15,665,101	100.9

## (2) 負債資本

(単位 円・%)

科 目	平成24年度末 現在高 A	平成23年度末 現在高 B	差 引 A - B	A / B
流 動 負 債	1,101,950,913	1,017,297,610	84,653,303	108.3
負 債 合 計	1,101,950,913	1,017,297,610	84,653,303	108.3
資 本 金	23,586,711,201	23,856,301,525	△ 269,590,324	98.9
剰 余 金	△ 9,422,502,853	△ 9,115,322,174	△ 307,180,679	103.4
資 本 合 計	14,164,208,348	14,740,979,351	△ 576,771,003	96.1
負債資本合計	15,266,159,261	15,758,276,961	△ 492,117,700	96.9

負債資本について前年度決算額と比較すると3.1%の低下となっている。

### 前年度決算額に対する増減の主なもの

流 動 負 債	未 払 金	8,294万円
資 本 金	自 己 資 本 金	6億3,299万円
	借 入 資 本 金	△ 9億 258万円
剰 余 金	資 本 剰 余 金	4,896万円
	利 益 剰 余 金	△ 3億5,614万円

これらの結果を第6表経営分析表で見ると、前年度に比し固定負債構成比率が低下し、流動負債構成比率及び自己資本構成比率は上昇している。

なお、資産と負債資本の関係では、前年度に比し流動比率及び固定資産対長期資本比率は低下している。

## (3) 資金運用

当年度の資金運用及び運転資金の状況は、第7表資金運用表のとおり調達源泉としては、減価償却費、出資金等の17億2,027万円となっているが、一方運用用途としては、建設改良費、企業債償還金等の16億192万円となっていることにより、1億1,834万円の運転資金が増加し、その結果、当年度末の運転資金は26億8,386万円となっている。

なお、運転資金の増加は、未払金の増等による資金の減少要因があったものの、現金預金の増等による資金の増加要因が上回ったことによるものである。

## 5 むすび

以上、本事業会計について提出された決算諸表、その他関係書類に基づき審査を行った。

病院事業は、道北地域の基幹病院として、地域住民に対し安全で質の高い医療サービスを提供するべく、当年度においてもデジタルX線画像処理システム等の医療機器を購入するなど、病院機能の充実及び医療水準の向上に努めているところである。

事業執行の結果、損益状況においては3億5,614万円の純損失が生じたことから、当年度末の未処理欠損金は120億7,666万円となっている。

資金状況に関しては、当年度末で26億8,386万円の運転資金を有しており、前年度末に比し1億1,834万円の資金増となっている。

また、当年度末の企業債残高は、第8表経営成績等の主要な項目の推移表のとおり、前年度末に比し9億258万円減の143億1,000万円となっている。

当年度の業務実績を見ると、収益については、整形外科の入院診療の休止が続く中、平均在院日数の短縮などの影響により年間患者数が減少したものの、7対1看護基準取得による入院収益の増や、高額薬剤の使用増、放射線治療の増などにより入院・外来ともに診療単価が上昇し、前年度に比し入院収益で2億4千万円以上、外来収益で1億5千万円以上増加している。

一方、費用については、7対1看護体制導入に伴う看護師の増加等により給与費で約2億2千万円増加したが、入院病棟の機械、電気、衛生設備の減価償却期間満了に伴い減価償却費で2億6千万円以上減少したこと等により、総費用で約1億3千万円減少したものの、依然として費用が収益を上回る状況が継続している。

当年度末の資金収支においては、運転資金が26億円余となったものの、借入資本金を除いた資本の部の金額はマイナスの状況が続き、当年度末で1億4千万円余の資本不足となっており、120億円を超えた未処理欠損金の解消についても検討が必要である。

このような状況の中、市立旭川病院においては、平成23年度から平成27年度までの中期経営計画を策定し、7対1看護の実施に取り組むなどして経営改善を目指しているところであるが、今後は、患者数の減少を食い止めるために、整形外科病棟の早期再開へ向け医師確保に努め、地域医療機関との連携を強化し高度医療を要する患者の受け入れ増加を図り診療単価増による増収を目指すとともに、コスト面では引き続き薬品・材料購入価の比較分析や後発医薬品の積極的な採用により材料費を抑制するなど、更なる経費削減を進め純損益の改善を図りたい。

また、病院事業を取り巻く経営環境は非常に厳しく、平成25年3月に中期経営計画を見直したところであるが、今後も経営の健全化を着実に推進し、地域医療確保のために重要な役割を果たすとともに、市民に対し良質の医療サービスを安定的・継続的に提供されるよう強く望むものである。

## 予 算 決 算 対 照 比 率 表

収 益 的 収 支

病院事業 (単位 円・%)

科 目	予算現額 A	構成比率		決算額 B	構成比率		B / A		科 目	予算現額 A	構成比率		決算額 B	構成比率		B / A	
		平成24年度	平成23年度		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度			平成24年度	平成23年度		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度
病院事業収益	11,885,461,000	100.0	100.0	11,463,452,051	100.0	100.0	96.4	92.3	病院事業費用	12,330,298,000	100.0	100.0	11,819,443,501	100.0	100.0	95.9	94.6
本院医業収益	10,986,923,000	92.4	92.2	10,601,422,285	92.5	91.6	96.5	91.7	本院医業費用	11,784,766,000	95.6	95.3	11,287,484,223	95.5	95.2	95.8	94.5
江丹別診療所 医業収益	4,194,000	0.0	0.0	4,312,193	0.0	0.0	102.8	95.9	江丹別診療所 医業費用	10,032,000	0.1	0.1	9,396,366	0.1	0.1	93.7	81.8
本院医業外収益	315,008,000	2.7	2.7	278,509,668	2.4	2.8	88.4	96.5	旭川医科大学学生 臨床医学教育費用	58,978,000	0.5	0.6	56,431,775	0.5	0.6	95.7	88.1
一般会計負担金	579,084,000	4.9	5.1	578,767,000	5.1	5.6	99.9	101.2	本院医業外費用	465,605,000	3.8	3.9	460,441,027	3.9	4.1	98.9	99.5
特別利益	252,000	0.0	—	440,905	0.0	—	175.0	—	特別損失	6,917,000	0.0	0.1	5,690,110	0.0	0.0	82.3	84.7
									予備費	4,000,000	0.0	0.0	0	—	—	—	—
合 計	11,885,461,000	100.0	100.0	11,463,452,051	100.0	100.0	96.4	92.3	合 計	12,330,298,000	100.0	100.0	11,819,443,501	100.0	100.0	95.9	94.6

注 病院事業収益の決算額には仮受消費税及び地方消費税13,081,177円、病院事業費用の決算額には仮払消費税及び地方消費税81,549,345円が含まれている。

## 資 本 的 収 支

(単位 円・%)

科 目	予算現額 A	構成比率		決算額 B	構成比率		B / A		科 目	予算現額 A	構成比率		決算額 B	構成比率		B / A	
		平成24年度	平成23年度		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度			平成24年度	平成23年度		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度
資本的収入	859,236,000	68.1	67.4	844,480,095	67.8	67.1	98.3	96.8	資本的支出	1,261,186,000	100.0	100.0	1,245,780,192	100.0	100.0	98.8	97.2
企業債	120,000,000	9.5	12.3	100,000,000	8.0	10.4	83.3	82.1	建設改良費	257,600,000	20.4	21.9	243,194,868	19.5	19.8	94.4	87.6
出資金	632,995,000	50.2	50.2	632,995,000	50.8	51.7	100.0	100.0	企業債償還金	1,002,586,000	79.5	78.0	1,002,585,324	80.5	80.2	100.0	100.0
補助金	74,586,000	5.9	0.0	78,513,000	6.3	0.7	105.3	—	予備費	1,000,000	0.1	0.1	0	—	—	—	—
負担金	31,507,000	2.5	4.9	31,824,000	2.6	4.3	101.0	87.2									
固定資産売却代金	148,000	0.0	—	148,095	0.0	—	100.1	—									
寄附金	0	—	—	1,000,000	0.1	—	—	—									
補填財源	401,950,000	31.9	32.6	401,300,097	32.2	32.9	99.8	98.1									
過年度分損益 勘定留保資金	401,785,000	31.9	32.6	401,145,929	32.2	32.9	99.8	98.1									
当年度分損益 勘定留保資金等	165,000	0.0	0.0	154,168	0.0	0.0	93.4	89.5									
合 計	1,261,186,000	100.0	100.0	1,245,780,192	100.0	100.0	98.8	97.2	合 計	1,261,186,000	100.0	100.0	1,245,780,192	100.0	100.0	98.8	97.2

注 資本的支出の決算額には仮払消費税及び地方消費税11,580,708円が含まれている。

損 益 計 算 書 対 前 年 度 比 較 表

病院事業 (単位 円・%)

科 目	平成24年度	構成 比率	平成23年度	差引増減	増減率	科 目	平成24年度	構成 比率	平成23年度	差引増減	増減率
1 医 業 費 用	11,215,577,347	95.0	11,297,986,109	△ 82,408,762	△ 0.7	1 医 業 収 益	10,596,220,180	92.5	10,186,959,980	409,260,200	4.0
(1) 本院医業費用	11,206,192,533	94.9	11,288,682,676	△ 82,490,143	△ 0.7	(1) 本院医業収益	10,591,907,987	92.5	10,182,946,407	408,961,580	4.0
[ 給 与 費 ]	[ 5,431,799,490 ]	[ 46.0 ]	[ 5,203,659,998 ]	[ 228,139,492 ]	[ 4.4 ]	[ 入 院 収 益 ]	[ 7,480,561,274 ]	[ 65.3 ]	[ 7,235,004,415 ]	[ 245,556,859 ]	[ 3.4 ]
[ 材 料 費 ]	[ 3,404,710,576 ]	[ 28.8 ]	[ 3,378,013,150 ]	[ 26,697,426 ]	[ 0.8 ]	[ 外 来 収 益 ]	[ 2,940,300,802 ]	[ 25.7 ]	[ 2,788,498,573 ]	[ 151,802,229 ]	[ 5.4 ]
[ 経 費 ]	[ 1,493,313,665 ]	[ 12.6 ]	[ 1,586,711,165 ]	[ △ 93,397,500 ]	[ △ 5.9 ]	[ その他医業収益 ]	[ 171,045,911 ]	[ 1.5 ]	[ 159,443,419 ]	[ 11,602,492 ]	[ 7.3 ]
[ 減 価 却 費 ]	[ 784,882,307 ]	[ 6.7 ]	[ 1,054,862,435 ]	[ △ 269,980,128 ]	[ △ 25.6 ]						
[ 資 産 減 耗 費 ]	[ 41,867,105 ]	[ 0.4 ]	[ 17,365,780 ]	[ 24,501,325 ]	[ 141.1 ]						
[ 研 究 研 修 費 ]	[ 49,619,390 ]	[ 0.4 ]	[ 48,070,148 ]	[ 1,549,242 ]	[ 3.2 ]						
(2) 江丹別診療所 医業費用	9,384,814	0.1	9,303,433	81,381	0.9	(2) 江丹別診療所 医業収益	4,312,193	0.0	4,013,573	298,620	7.4
[ 給 与 費 ]	[ 6,370,769 ]	[ 0.1 ]	[ 6,341,767 ]	[ 29,002 ]	[ 0.5 ]	[ 外 来 収 益 ]	[ 4,312,193 ]	[ 0.0 ]	[ 4,013,573 ]	[ 298,620 ]	[ 7.4 ]
[ 材 料 費 ]	[ 2,761,826 ]	[ 0.0 ]	[ 2,659,196 ]	[ 102,630 ]	[ 3.9 ]						
[ 経 費 ]	[ 252,219 ]	[ 0.0 ]	[ 302,470 ]	[ △ 50,251 ]	[ △ 16.6 ]						
2 医 業 外 費 用	529,006,600	4.5	558,966,887	△ 29,960,287	△ 5.4	2 医 業 外 収 益	275,028,293	2.4	310,867,676	△ 35,839,383	△ 11.5
(1) 本院医業外費用	529,006,600	4.5	558,966,887	△ 29,960,287	△ 5.4	(1) 本院医業外収益	275,028,293	2.4	310,867,676	△ 35,839,383	△ 11.5
[ 支払利息及び企業債取扱諸費 ]	[ 395,158,093 ]	[ 3.4 ]	[ 417,184,360 ]	[ △ 22,026,267 ]	[ △ 5.3 ]	[ 受取利息配当金 ]	[ 403,975 ]	[ 0.0 ]	[ 251,485 ]	[ 152,490 ]	[ 60.6 ]
[ 繰延勘定償却 ]	[ 52,740,338 ]	[ 0.4 ]	[ 54,379,394 ]	[ △ 1,639,056 ]	[ △ 3.0 ]	[ 国庫補助金 ]	[ 14,458,000 ]	[ 0.1 ]	[ 10,956,000 ]	[ 3,502,000 ]	[ 32.0 ]
[ 消費税及び地方消費税雑支出 ]	[ 76,651,140 ]	[ 0.7 ]	[ 78,671,572 ]	[ △ 2,020,432 ]	[ △ 2.6 ]	[ 道 補 助 金 ]	[ 19,657,000 ]	[ 0.2 ]	[ 19,412,000 ]	[ 245,000 ]	[ 1.3 ]
[ 雑 損 失 ]	[ 559,961 ]	[ 0.0 ]	[ 8,731,561 ]	[ △ 8,171,600 ]	[ △ 93.6 ]	[ 一般会計補助金 ]	[ 159,082,000 ]	[ 1.4 ]	[ 134,557,000 ]	[ 24,525,000 ]	[ 18.2 ]
[ 受託事業費 ]	[ 3,897,068 ]	[ 0.0 ]	[ — ]	[ 3,897,068 ]	[ — ]	[ 旭川医科大学学生臨床 医学教育実習委託金 ]	[ 6,873,143 ]	[ 0.1 ]	[ 11,233,524 ]	[ △ 4,360,381 ]	[ △ 38.8 ]
						[ その他医業外収益 ]	[ 70,707,189 ]	[ 0.6 ]	[ 134,457,667 ]	[ △ 63,750,478 ]	[ △ 47.4 ]
						[ 受託事業収益 ]	[ 3,846,986 ]	[ 0.0 ]	[ — ]	[ 3,846,986 ]	[ — ]
3 旭川医科大学学生 臨床医学教育費用	56,327,939	0.5	75,151,543	△ 18,823,604	△ 25.0	3 一 般 会 計 負 担 金	578,767,000	5.1	616,621,000	△ 37,854,000	△ 6.1
(1) 旭川医科大学学生 臨床医学教育費用	56,327,939	0.5	75,151,543	△ 18,823,604	△ 25.0	(1) 一般会計負担金	578,767,000	5.1	616,621,000	△ 37,854,000	△ 6.1
[ 給 与 費 ]	[ 52,369,852 ]	[ 0.5 ]	[ 71,202,873 ]	[ △ 18,833,021 ]	[ △ 26.4 ]	[ 本 院 ]	[ 573,683,000 ]	[ 5.1 ]	[ 611,319,000 ]	[ △ 37,636,000 ]	[ △ 6.2 ]
[ 経 費 ]	[ 643,536 ]	[ 0.0 ]	[ 619,790 ]	[ 23,746 ]	[ 3.8 ]	[ 江丹別診療所 ]	[ 5,084,000 ]	[ 0.0 ]	[ 5,302,000 ]	[ △ 218,000 ]	[ △ 4.1 ]
[ 研 究 研 修 費 ]	[ 3,314,551 ]	[ 0.0 ]	[ 3,328,880 ]	[ △ 14,329 ]	[ △ 0.4 ]						
[ 経 常 費 用 ]	[ 11,800,911,886 ]	[ 100.0 ]	[ 11,932,104,539 ]	[ △ 131,192,653 ]	[ △ 1.1 ]	[ 経 常 収 益 ]	[ 11,450,015,473 ]	[ 100.0 ]	[ 11,114,448,656 ]	[ 335,566,817 ]	[ 3.0 ]
[ 経常利益(△損失) ]	[ △ 350,896,413 ]	[ — ]	[ △ 817,655,883 ]	[ 466,759,470 ]	[ △ 57.1 ]						
4 特 別 損 失	5,690,110	0.0	5,710,530	△ 20,420	△ 0.4	4 特 別 利 益	440,905	0.0	—	440,905	—
(1) 過年度損益修正損	5,690,110	0.0	5,710,530	△ 20,420	△ 0.4	(1) 固定資産売却益	440,905	0.0	—	440,905	—
[ 総 費 用 ]	[ 11,806,601,996 ]	[ 100.0 ]	[ 11,937,815,069 ]	[ △ 131,213,073 ]	[ △ 1.1 ]	[ 総 収 益 ]	[ 11,450,456,378 ]	[ 100.0 ]	[ 11,114,448,656 ]	[ 336,007,722 ]	[ 3.0 ]
[ 当年度純利益(△損失) ]	[ △ 356,145,618 ]	[ — ]	[ △ 823,366,413 ]	[ 467,220,795 ]	[ △ 56.7 ]						
合 計	11,450,456,378	—	11,114,448,656	336,007,722	3.0	合 計	11,450,456,378	—	11,114,448,656	336,007,722	3.0

注 目単位を[ ]内に参考表示した。

## 費用使途別比率表

病院事業 (単位 円・%)

科 目	人 件 費				物 件 費 ・ そ の 他 の 経 費				計			
	金 額	構 成 比 率		前 年 度 に 対 する 比 率	金 額	構 成 比 率		前 年 度 に 対 する 比 率	金 額	構 成 比 率		前 年 度 に 対 する 比 率
		平 成 24 年 度	平 成 23 年 度			平 成 24 年 度	平 成 23 年 度			平 成 24 年 度	平 成 23 年 度	
医業費用	5,445,020,039	46.1	43.7	104.4	5,770,557,308	48.9	51.0	94.9	11,215,577,347	95.0	94.7	99.3
本院医業費用	5,438,641,120	46.0	43.6	104.4	5,767,551,413	48.9	51.0	94.9	11,206,192,533	94.9	94.6	99.3
江丹別診療所 医業費用	6,378,919	0.1	0.1	100.5	3,005,895	0.0	0.0	101.8	9,384,814	0.1	0.1	100.9
医業外費用	0	—	—	—	529,006,600	4.5	4.7	94.6	529,006,600	4.5	4.7	94.6
本院医業外費用	0	—	—	—	529,006,600	4.5	4.7	94.6	529,006,600	4.5	4.7	94.6
旭川医科大学学生 臨床医学教育費用	52,412,538	0.5	0.6	73.6	3,915,401	0.0	0.0	100.5	56,327,939	0.5	0.6	75.0
旭川医科大学学生 臨床医学教育費用	52,412,538	0.5	0.6	73.6	3,915,401	0.0	0.0	100.5	56,327,939	0.5	0.6	75.0
特別損失	0	—	—	—	5,690,110	0.0	0.0	99.6	5,690,110	0.0	0.0	99.6
過年度損益修正損	0	—	—	—	5,690,110	0.0	0.0	99.6	5,690,110	0.0	0.0	99.6
合 計	5,497,432,577	46.6	44.3	104.0	6,309,169,419	53.4	55.7	94.9	11,806,601,996	100.0	100.0	98.9

## 業 務 実 績 表

病 院 事 業

項 目		平成24年度	平成23年度	前年度に対する比較		備 考	
				平成24年度	平成23年度		
病 床 数		563 床	563 床	100.0 %	100.0 %		
患 者 数	入 院	年 計	144,449 人	144,925 人	99.7 %	98.0 %	年 間 延
		1 日 平 均	395.8 人	396.0 人	△ 0.2 人	△ 9.1 人	
	外 来	年 計	237,107 人	241,976 人	98.0 %	96.5 %	年 間 延
		1 日 平 均	971.8 人	991.7 人	△ 19.9 人	△ 40.2 人	
	計	年 計	381,556 人	386,901 人	98.6 %	97.1 %	年 間 延
		1 日 平 均	1,367.6 人	1,387.7 人	△ 20.1 人	△ 49.3 人	
病 床 利 用 率		70.3 %	70.3 %	0.0 ポイント	△ 1.7 ポイント	$\frac{\text{年間延入院患者数}}{\text{年間延病床数}} \times 100$	
入 院 ・ 外 来 患 者 比 率		164.1 %	167.0 %	△ 2.9 ポイント	△ 2.6 ポイント	$\frac{\text{年間延外来患者数}}{\text{年間延入院患者数}} \times 100$	
職 員 数	医 師	62 人	63 人	98.4 %	103.3 %		
	看 護 師	383 人	355 人	107.9 %	101.1 %	准看護師を含む。	
	医 療 技 術 員	70 人	71 人	98.6 %	101.4 %		
	事 務 ・ 技 術 職 員	34 人 ( 1 人)	33 人 ( 3 人)	103.0 % ( 33.3 %)	94.3 % ( 300.0 %)	( )は、再任用短時間勤務職員数で外数である。	
	そ の 他 職 員	8 人	8 人	100.0 %	100.0 %		
	計	557 人 ( 1 人)	530 人 ( 3 人)	105.1 % ( 33.3 %)	101.0 % ( 300.0 %)	( )は、再任用短時間勤務職員数で外数である。	
患者 1 人 1 日 当 たり 収 益		27,771円 07銭	26,329円 63銭	105.5 %	106.1 %	$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{年間延入院外来患者数}}$	
患者 1 人 1 日 当 たり 費 用		29,394円 32銭	29,201円 23銭	100.7 %	105.2 %	$\frac{\text{医 業 費 用}}{\text{年間延入院外来患者数}}$	

## 貸借対照表対前年度比較表

病院事業（単位 円・％）

科 目	平成24年度	構成 比率	平成23年度	差引増減	増減率	科 目	平成24年度	構成 比率	平成23年度	差引増減	増減率
1 固定資産	11,227,174,012	73.5	11,880,977,075	△ 653,803,063	△ 5.5	1 流動負債	1,101,950,913	7.2	1,017,297,610	84,653,303	8.3
(1) 有形固定資産	11,225,334,912	73.5	11,879,137,975	△ 653,803,063	△ 5.5	(1) 未払金	1,069,799,693	7.0	986,855,682	82,944,011	8.4
イ 土地	69,025,537	0.4	69,173,632	△ 148,095	△ 0.2	(2) 預り金	32,151,220	0.2	30,441,928	1,709,292	5.6
ロ 建物	8,880,397,440	58.2	9,411,064,629	△ 530,667,189	△ 5.6	負債合計	1,101,950,913	7.2	1,017,297,610	84,653,303	8.3
ハ 構築物	118,846,095	0.8	142,569,561	△ 23,723,466	△ 16.6	2 資本金	23,586,711,201	154.5	23,856,301,525	△ 269,590,324	△ 1.1
ニ 器械備品	2,152,765,840	14.1	2,256,330,153	△ 103,564,313	△ 4.6	(1) 自己資本金	9,276,708,605	60.8	8,643,713,605	632,995,000	7.3
ホ 建設仮勘定	4,300,000	0.0	-	4,300,000	-	(2) 借入資本金	14,310,002,596	93.7	15,212,587,920	△ 902,585,324	△ 5.9
(2) 無形固定資産	1,771,100	0.0	1,771,100	0	0.0	イ 企業債	14,310,002,596	93.7	15,212,587,920	△ 902,585,324	△ 5.9
イ 電話加入権	1,771,100	0.0	1,771,100	0	0.0	3 剰余金	△ 9,422,502,853	△ 61.7	△ 9,115,322,174	△ 307,180,679	3.4
(3) 投資	68,000	0.0	68,000	0	0.0	(1) 資本剰余金	2,654,162,220	17.4	2,605,197,281	48,964,939	1.9
イ 出資金	68,000	0.0	68,000	0	0.0	イ 補助金	721,896,890	4.7	656,692,590	65,204,300	9.9
2 流動資産	3,785,815,588	24.8	3,582,816,427	202,999,161	5.7	ロ 負担金	1,578,339,272	10.4	1,589,806,533	△ 11,467,261	△ 0.7
(1) 現金預金	1,859,183,636	12.2	1,683,561,951	175,621,685	10.4	ハ 受贈財産評価額	119,872,384	0.8	120,456,384	△ 584,000	△ 0.5
(2) 未収金	1,820,094,703	11.9	1,804,429,602	15,665,101	0.9	ニ 寄附金	196,568,674	1.3	198,650,774	△ 2,082,100	△ 1.0
(3) 貯蔵品	106,326,149	0.7	94,668,134	11,658,015	12.3	ホ 旭川医科大学学生臨床 医学教育実習委託金	37,485,000	0.2	39,591,000	△ 2,106,000	△ 5.3
(4) 前払金	211,100	0.0	156,740	54,360	34.7	(2) 利益剰余金	△ 12,076,665,073	△ 79.1	△ 11,720,519,455	△ 356,145,618	3.0
3 繰延勘定	253,169,661	1.7	294,483,459	△ 41,313,798	△ 14.0	イ 当年度未処理欠損金	12,076,665,073	79.1	11,720,519,455	356,145,618	3.0
(1) 控除対象外消費税額	253,169,661	1.7	294,483,459	△ 41,313,798	△ 14.0	資本合計	14,164,208,348	92.8	14,740,979,351	△ 576,771,003	△ 3.9
資産合計	15,266,159,261	100.0	15,758,276,961	△ 492,117,700	△ 3.1	負債資本合計	15,266,159,261	100.0	15,758,276,961	△ 492,117,700	△ 3.1

# 経 営 分 析 表

病院事業（単位：%）

項 目	比 率			算 式	説 明	
	平成24年度	平成23年度	平成22年度			
構 成 比 率	固定資産構成比率	75.2	77.3	77.7	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$	総資産中、固定資産が占める割合を示す。この比率の大きいことは公営企業の特徴であるが小さい方が望ましい。
	流動資産構成比率	24.8	22.7	22.3	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} \times 100$	総資産中、流動資産が占める割合を示す。この比率の小さいことは公営企業の特徴であるが大きい方が望ましい。
	固定負債構成比率	93.7	96.5	94.6	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本中、固定負債が占める割合を示す。この比率は小さい方が望ましい。
	流動負債構成比率	7.2	6.5	6.7	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本中、流動負債が占める割合を示す。この比率は小さい方が望ましい。
	自己資本構成比率	△ 1.0	△ 3.0	△ 1.3	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本中、自己資本が占める割合を示す。この比率は大きい方が望ましい。
財 務 比 率	流動資産対固定資産比率	33.0	29.4	28.6	$\frac{\text{流動資産}}{\text{固定資産}} \times 100$	流動資産と固定資産の比率を表す。この比率の小さいことは公営企業の特徴であるが大きい方が望ましい。
	負債比率	—	—	—	$\frac{\text{負債}}{\text{自己資本}} \times 100$	負債と自己資本の比率を表す。負債を自己資本より超過させないことが健全経営の第一義であることから、率としては100%以下が望ましい。
	固定比率	—	—	—	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$	固定資産と自己資本の比率を表す。固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであることから、100%以下が望ましい。
	固定資産対長期資本比率	81.1	82.6	83.3	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{自己資本}} \times 100$	固定資産をうむための長期資本(固定負債+自己資本)の役割を%で表したもの。100%を超えることは過大投資が行われたことを示す。
	流動比率	343.6	352.2	332.1	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期負債の支払能力をみるのに用いる。理想比率としては200%以上であること。この比率が100%を割っていることは、不良債務があることを示している。
	酸性試験比率	333.9	342.9	322.3	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期負債の返済に必要な現金と換金されやすい未収金による支払能力をみるのに用いる。理想比率は100%以上。
	現金預金比率	168.7	165.5	167.9	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期負債の即時的支払能力をみるのに用いる。理想比率は20%以上。
その他	利子負担率	2.7	2.7	2.7	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{(\text{期首借入} + \text{期末借入}) \div 2} \times 100$	有利子負債及び借入資本金の平均に占める利息の割合を表す。%の大きいほど金利負担増大による危険性が大きいことを示す。

注 固定資産 = 固定資産 + 繰延勘定

固定負債 = 貸借対照表上の固定負債 + 借入資本金

負債 = 貸借対照表上の固定負債 + 流動負債 + 借入資本金

自己資本 = 自己資本金 + 剰余金

借入 = 有利子負債（企業債+他会計借入金+一時借入金）+ 借入資本金

負債比率及び固定比率について、比率が負の値となる場合は、「-」の表示とした。

## 資 金 運 用 表

## 1 長 期 資 金

病院事業(単位 円)

資金の運用用途	金額	資金の調達源泉	金額
当年度純損失	356,145,618	減価償却費	784,882,307
		資産減耗費	38,014,760
		繰延勘定償却	52,740,338
		消費税及び地方消費税資本的収支調整額	154,168
収益的収支の資金剰余	519,645,955		
建設改良費	243,194,868	企業債	100,000,000
企業債償還金	1,002,585,324	出資金	632,995,000
		補助金	78,513,000
		負担金	31,824,000
		固定資産売却代金	148,095
		寄附金	1,000,000
		資本的収支の資金不足	401,300,097
運転資金の増加	118,345,858	運転資金の減少	0
合計	1,720,271,668	合計	1,720,271,668

## 2 運 転 資 金

(単位 円)

科目	区分	平成24年度末	平成23年度末	資 金	
				増 加	減 少
流動資産	A	3,785,815,588	3,582,816,427	202,999,161	
現金預金		1,859,183,636	1,683,561,951	175,621,685	
未収金		1,820,094,703	1,804,429,602	15,665,101	
貯蔵品		106,326,149	94,668,134	11,658,015	
前払金		211,100	156,740	54,360	
流動負債	B	1,101,950,913	1,017,297,610		84,653,303
未払金		1,069,799,693	986,855,682		82,944,011
預り金		32,151,220	30,441,928		1,709,292
運転資金	A - B	2,683,864,675	2,565,518,817	118,345,858	

## 経営成績等の主要な項目の推移表

病院事業 (単位 円)

区 分 \ 年 度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
経 営 成 績	総 収 益	11,424,990,284	10,584,962,476	10,904,497,409	11,114,448,656	11,450,456,378
	本院医業収益	10,379,300,763	9,563,576,713	9,889,550,486	10,182,946,407	10,591,907,987
	総 費 用	12,038,507,443	11,529,179,456	11,725,558,886	11,937,815,069	11,806,601,996
	人 件 費	5,600,498,361	5,272,278,417	5,371,178,915	5,287,721,502	5,497,432,577
	退職給与金	653,320,028	400,635,966	499,916,459	385,373,309	411,239,900
	減価償却費	986,407,697	969,588,963	982,414,881	1,054,862,435	784,882,307
	支払利息等	473,994,256	455,703,252	436,139,995	417,184,360	395,158,093
	経 常 損 失	603,028,967	932,708,392	814,664,219	817,655,883	350,896,413
	当 年 度 純 損 失	613,517,159	944,216,980	821,061,477	823,366,413	356,145,618
	当年度未処理欠損金	9,131,874,585	10,076,091,565	10,897,153,042	11,720,519,455	12,076,665,073
	患者1人1日当たり収益	23,127.93	23,423.88	24,820.92	26,329.63	27,771.07
	患者1人1日当たり費用	25,263.49	26,568.17	27,768.39	29,201.23	29,394.32
	患者1人1日当たり 収 益 - 費 用	△ 2,135.56	△ 3,144.29	△ 2,947.47	△ 2,871.60	△ 1,623.25
財 政 状 態	流 動 資 産	4,425,157,436	3,889,178,073	3,764,008,893	3,582,816,427	3,785,815,588
	流 動 負 債	1,373,872,542	1,098,764,905	1,133,430,861	1,017,297,610	1,101,950,913
	年 度 末 運 転 資 金	3,051,284,894	2,790,413,168	2,630,578,032	2,565,518,817	2,683,864,675
	企 業 債 年 度 末 残 高	16,901,398,145	16,311,948,589	15,987,610,366	15,212,587,920	14,310,002,596
そ の 他	建 設 改 良 費	322,814,625	275,135,934	640,708,950	219,102,325	243,194,868
	企 業 債 償 還 金	742,571,167	789,449,556	844,338,223	890,022,446	1,002,585,324
	一 般 会 計 繰 入 金	1,436,437,000	1,384,882,000	1,420,822,000	1,372,556,000	1,402,668,000
	不 納 欠 損 額	10,488,192	11,508,588	6,397,258	6,228,215	6,018,607

注1 建設改良費には、仮払消費税及び地方消費税が含まれている。

2 一般会計繰入金は、収益的収入と資本的収入の合計である。